

流域の市区町村から寄せられた意見

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
茨城県	土浦市	霞ヶ浦	<p>これまでの霞ヶ浦を含む河川整備は、治水・利水を主眼に進められてきており、災害対策や水利用に大きな効果をもたらしてきた。一方、人々の環境に対する関心は高まっており、水質や自然環境、景観などへの配慮による親水性の向上も重要な課題であると考え。従って、今後の河川整備にあっては、従来の治水・利水の観点だけでなく、環境の視点も踏まえて、総合的かつ計画的に推進することを望む。加えて、水系は地域の貴重な財産であることから、情報の共有化や地域住民と一体となった施策の推進が必要であると考え。</p> <p>河川整備の主題は治水であることから、詳細なデータによる検証・検討により、地域住民の安心・安全が確保できる治水対策を切望する。また、土浦市は霞ヶ浦流入河川の最下流部に位置するため、上流域の流水の影響が集約されることから、最下流域の河川整備については十分な配慮をお願いしたい。</p> <p>水は生活・産業を支える貴重な資源であり、正に生命の源である。そのため、住民の生活や産業の振興に影響を及ぼさないような利水対策を望む。</p> <p>霞ヶ浦は、豊かな自然もさることながら、上水道の水源でもあり、水質浄化は全ての人々が切望するところであることから、今後の河川整備については、環境の要因も十分考慮され進められたい。特に湖岸域整備については、植生帯再生や砂浜整備等の方策をさらに推進していただきたい。中でも、砂浜整備に関しては、親水性の向上や環境学習の場の提供などとして大きな効果が期待できることから、積極的な取組みをお願いしたい。</p> <p>霞ヶ浦を含む河川のごみについては、市としても課題となっている。台風や大雨の後に大量に流れる枯枝・枯草や一般的なごみは、河川景観だけでなく、水質汚濁の要因のひとつともなっている。また、土浦市は河川最下流であるため、上流からごみ等が集積してしまう場所となってしまう。従って、河川に流れるごみ、あるいは河川底や湖底に沈んでいるごみの対策について、市町村とも連携し、積極的な対応を願いたい。</p> <p>霞ヶ浦を含む河川は、地域の財産であり万人のものであると認識することから、住民、事業者、行政といったあらゆる主体が連携し、各々の役割分担により協働での取組みが必要である。その取組みを効果的・効率的に進めるには、連携・協働の理念を具現化する体制づくりが不可欠であると考え。</p> <p>30年後のビジョンを示し、それに向けての指針を明らかにするとともに、安心・安全で美しく楽しい河川環境を後の世代に引き継ぐことが今を生きる我々の責務であると考え。</p>
	古河市	利根川・江戸川	<p>利根川水系河川整備計画策定に係る意見について次のとおり、河川整備について意見を述べさせていただきます。</p> <p>1. 古河市は、利根川と渡良瀬川の合流点に位置し、洪水時の水位は、市街よりも高く、地域のまちづくりと一体となったスーパー堤防事業を推進していただきたい。</p>

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
茨城県	古河市	利根川・江戸川	<p>2. 市内を流れる一級河川女沼川、向堀川では、毎年のように浸水被害が発生し、茨城県の河川改修が進められているので、利根川への合流部対策としての新樋管及び排水機場整備についても実施していただきたい。</p> <p>3. 利根川・渡良瀬川の堤防上は市民の散策の場として利用されており、今後は、河川敷を市民の憩いの場とするため、親水公園等の整備について検討していただきたい。</p> <p>4. 地域の幹線道路等の整備をスーパー堤防、堤防強化等の事業と連携しながら進めらるるよう位置づけていただきたい。</p>
	石岡市	霞ヶ浦	<p>霞ヶ浦の治水、利水、環境等については、国・県・市町村が、共通の目標に向かって、共に取り組んで行くことが最も重要であると考えます。さらに、水質浄化など環境問題については、流域住民の理解が欠かせないものであり、問題意識を、より多くの住民に共有していただくことが大切です。さて、今回の霞ヶ浦河川整備計画『湖岸帯の場の保全・再生』として、養浜事業があげられています。こうした施設は、湖岸植生の保全・再生と共に多様な生態系の創出に役立つものですが、同時に、霞ヶ浦に親しめる大切な施設であると思います。そこで、施設を整備した後に、様々な人びとにご覧頂き、生態系への関心を喚起し、理解を深めることにより、大切な霞ヶ浦の水質を保全しよう、との機運を、なお一層高めることが肝要であり、そのためには、国・県・市町村それぞれが、適切な役割分担の下、環境学習などの事業を積極的に行うことを提案いたします。すなわち、ハード整備に連動したソフト事業の展開であり、ソフト事業を想定した整備事業を進めることも必要と存じますので、併せて提案いたします。</p>
	結城市	全体	<p><利根川水系全体に関する意見> 一昨年の夏に県立下館工業高校の生徒が、鬼怒川で2名(結城市在住1名、下妻市在住1名)溺死するという痛ましい事故がありました。尊い命が河川によって奪われたことには、親族・関係者の心痛は計り知れないものがあると思われまます。河川の整備については、その地域の利用頻度などいろいろな要因が考えられますが、安心安全な河川環境の整備に取り組んでいただければ幸いです。</p>
		鬼怒川・小貝川	<p>結城市では、河川敷を利用した運動公園が2ヶ所(久保田と才光寺県民運動公園)あり、この運動公園は地域住民のスポーツレクリエーションを楽しむため、約20年位前に整備されました。しかし、毎年の集中豪雨や台風の時期になりますと、施設全体が水没し、利用できない状況となりますので、その辺の対策が講じられますようお願いいたします。</p> <p>結城市においては、農業用水の吉田用水機場が河岸にあります。水田を潤す水量の確保に今後とも努めていただきたい。</p> <p>鬼怒川堤防敷の草刈などを行い、自然環境にご配慮いただきまして感謝申し上げます。今後とも引き続き対応いたしますようお願い申し上げます。</p>

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
茨城県	結城市	鬼怒川・小貝川	<p>鬼怒川と田川の合流地点では堤防もなく、集中豪雨や台風の時期ともなると水位が上昇して危険な状況になると思われますので、ご検討のうえ改修いただけますようお願いいたします。その他の堤防につきましては、水位が上昇してもある程度の余裕があると思われます。</p> <p>毎年7月に実施している鬼怒川・小貝川クリーン作戦を利用して、河川沿川の河川愛護者、河川施設利用者及び地域住民の理解をいただきながら、なお一層強力に取り組み、官民一体となって河川の協働のまちづくりを進めていただきたい。</p> <p>結城市においては、財政事情が非常に厳しいため、施設などの整備計画ができない状況にありますので、当市に見合った施設の検討及び設置について、特段のご配慮をお願いいたします。</p>
	竜ヶ崎市	霞ヶ浦	<p>安心、安全は、市民共通の願いでもあるため河川整備に関しては、治水の観点に十分配慮した計画の立案を望む。またあわせて、21世紀は環境の世紀と呼ばれる時代であり、持続可能な循環型社会を形成するためにも、自然環境の保全の観点で取り組んでいただく、そのような配慮のある計画の立案をお願いしたい。</p>
	下妻市	全体	<p>河川整備が進むにつれて、洪水の発生は低くなっていますが、その一方で内水対策に対する要望が高まってきていますので、内水排除を可能とする対策に取り組んでいただきたい。</p>
		鬼怒川・小貝川	<p>前河原地先 左岸 北台川水門から下流の無堤部築堤要望 中居指地先 左岸 鬼怒川橋から下流の無堤部築堤要望 鎌庭地先 左岸 大形橋上流部への防災ステーション整備要望 長塚地先 「ピアスパークしもつま」付近の河川環境整備要望 「川をきれいにする、ゴミを捨てない」等の啓発活動強化及びゴミの捨てにくい環境整備の促進 排水樋管の改善や連絡体系の強化</p> <p>河川の維持管理には地域住民との協働が重要であり、積極的な働きかけが必要である。</p> <p>古沢～柳原地先 系繰川排水機場から下流部右岸の堤防高点検及び堤防拡幅要望 河道内の治水上支障となる立木伐採等の整備促進</p> <p>小貝川ふれあい公園内 浸食箇所の親水護岸整備要望 「川をきれいにする、ゴミを捨てない」等の啓発活動強化及びゴミの捨てにくい環境整備の促進</p>
		霞ヶ浦	<p>河川整備が進むにつれて、洪水の発生は低くなっていますが、その一方で内水対策に対する要望が高まってきていますので、内水排除を可能とする対策に取り組んでいただきたい。</p> <p>(霞ヶ浦)水質向上に向け今後も積極的に浄化していただきたい。</p>

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
茨城県	常総市	鬼怒川・小貝川	<p>鬼怒川の治水に関する意見について。常総市を貫流する下流部は23.5キロメートルあり、堤防の計画断面を満足していない区間や無堤防が数箇所存在しております。無堤防の築堤・堤防の嵩上げ・堤防の拡幅が市民が望む最大の課題であります。また老朽樋管が多数あり周辺住民は洪水時の心配をしておりますので改築または補修の計画的な推進をお願いするものです。平成14年の台風による洪水から市民の不安は増大しておりますので、上記の意見について河川整備計画に目標を掲げて、整備していただきたいと思ひます。</p> <p>鬼怒川の利水に関する意見について。常総市は農業の盛んな地方であり特に水利用については市民の関心あるところ です。 土地改良区などの意見としては揚水機場付近の河床低下や川の流れの変化などが極端なために取水不良となって苦慮しているとの報告を多数受けております。 この点につきまして農業用水の立場から河床低下の整備対策をお願いします。</p> <p>河川環境についての意見。従来から治水・利水は重点的に行われておりましたが、近年は河川沿川住民の川の自然に対するふれあいの意識が高まってきました。常総市の鬼怒川沿いには10箇所ほどの河川空間があります。代表されるものは鬼怒川左岸24キロメートル付近の十一面山という箇所があります。現在、地元住民の様々な活動により平地林の保全に力を入れているところですが、この付近は無堤防地帯でありまして、地元では保全か築堤かの議論が高まっておるところです。市といたしましては当然築堤の方向で進めておりますが今後は河川の環境整備と治水の両面から整備することをお願いします。河川の利用実態を把握していただき河川空間の整備をぜひ河川整備計画に織り込むことを念願するものです。</p> <p>小貝川に関する意見。鬼怒川の整備の要望と基本的に同様。特に昭和61年の常総市本豊田の洪水は市民の忘れがたい災害でありました。その後、各緊急対策事業によって、数々の強化策が実施されましたが、下流部においては、いまだ、堤防の浸透に対する安全性の低い区間が存在しています。堤防の更なる強化を要望します。</p> <p>土地改良区からの意見。田植え期間は農業用水の最需要期である。各土地改良は用水の確保に苦慮している状況にある。福岡堰は、企業局が里子で放流する水量を頭首工上流で取水されてるが、この間の小貝川に杭、シート等を利用して取水する改良区がある。自然に取水するのが基本で、本川中の障害物は下流における利用者にとっては障害であり河川管理上の問題がある。</p> <p>土地改良区からの意見。最近小貝川の水質が低下していると思われる現象があり、取水している農業用水路壁に藻が張り付き流水に支障をきたす状況である。霞ヶ浦用水を放流以前とその後の水質の変化がどうか。また、上流部の広域的下水道施設の放流などの関係について調査検討が必要。</p>

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
茨城県	取手市	全体	<p>この度の計画については昭和39年以来の整備計画の見直しということで、大いに期待しているところであります。昭和39年の計画では田んぼの調整池化が主な内容になっていたと思いますが、今回の整備計画見直しでは、近年、農業事情の変化から洪水時、都市化の進展等も含め、全国的に水害も多発しているという昨今の現状にある中で、国においても治水を第一に考えているものと思います。これは、我々も同感です。特に河川区域においては、生命財産を守るべく治水を第一に考え、それを充実させてこそ環境への配慮が講じられるべき性格を有する区域であると思います。</p> <p>取手市には、利根川と小貝川が流れており、両河川の合流点もございます。例えば、小貝川の上流中流地点で水位が上がっても利根川へ流れて行かないという状況が度々起こります。この現象は、洪水時には両河川とも水位が上がり、小貝川の方の流れが弱いため利根川から逆流が起こるもので、小貝川の水位が下がらず堤防などにも大きな負担が掛かっているものと思います。そこで、利根川のハッ場ダム、湯西ダムの建設については中々進んでいない状況にありますが、これについて下流域としましてはダムの建設を早急に行っていたきたい。特にハッ場ダムなどは裁判などにもなっておりますが、是非、治水について下流域が安全なように対策を講じていただきたいと思ひます。さらに、近年の降雨の状況は、ご承知のとおりいつ洪水の被害に遭うかわかりません。ここでもう一度治水に力をいれていただき、川の浚渫、堤防強化、稲戸井調整池計画、印旛導水路計画などの事業も併せて早急に進めていただきたい。</p> <p>河川環境につきましては、市も常々市民と対話を行っております。市民に対して「河川というものはいったい誰のものなのですか。これは市民のものでしょうか。そこを自分たちが綺麗にしなくては誰が綺麗にするんですか。」ということで理解していただいております。そのような河川美化活動により、取手市内の利根川、小貝川両河川敷にはゴミがない状況となっております。取手市では今から7、8年前、市民の理解のもと河川環境保全のために10億円を投じて河川敷23haを買収しました。環境整備については是非、平成4年に作った利根川水系環境整備計画、これに基づいてやっていただければと思ひています。</p> <p>次に水環境について、河川環境に関心を持つ市民を伴い上流のみなかみ町など水源地に樹木の植栽などに訪れた際などに良く感じることもありますが、上流の水はどうなっているのか、増水した後、最下流の銚子にどれだけゴミが堆積しているのか、これも地域連携の中で多くの住民に見ていただくことも必要だと思ひています。</p> <p>最後になりますが、整備計画の中で堤防の拡幅などがあります。拡幅する際、街、集落の近くの築堤に当たって、是非、考慮していただきたいことがあります。堤防決壊など水害があった時、堤防上は消防車や国土交通省の車が通ったり作業したりします。その時、周辺住民が避難するスペースがない場合がありますから、このスペースを広く確保して住民が避難できるようにしていただきたいと思ひます。</p>

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
茨城県	牛久市	全体	<p>最近、異常な数の台風や予測できないような強雨、長雨等が発生するなど地球温暖化による異常気象が深刻な問題となっております。このような状況の中、河川の氾濫等によって起こる家屋の浸水や農作物への影響などは市民の生活に大きな打撃を与えます。牛久市におきましては小貝川の支流となります牛久沼、谷田川、稲荷川などがあり、雨水排水の流末となっておりますが、今日では河川の洪水による被害はありません。今後、異常気象の中で予測できない雨量あるいは風量は当然起こるものと思われるので、長期的な視野に立った今回の計画の中で市民の生命及び財産を守っていけるような計画をお願いしたいと思います。</p>
		霞ヶ浦	<p>最近、地球温暖化ということで国連などでも地球規模での危機が叫ばれており、日本でも昨年においては平均3個とされている台風の数10個という異常な量が上陸しております。台風以外にもこの温暖化に伴って予測できないような強雨、長雨等が発生すると思われる異常気象については深刻な問題となっております。このような状況の中、水害として河川に与える影響は大きく、洪水等によって起こる家屋の浸水や農作物への影響など市民の生活に大きな打撃を与えます。今後、異常気象の中で予測できない雨量あるいは風量は当然起こるものと思われるので、長期的な視野に立った今回の計画の中で市民の生命及び財産を守っていける治水対策をお願いしたいと思います。</p>
		全体 霞ヶ浦	<p>また、生活用水の水源である霞ヶ浦、利根川の水質は、生活排水等の増加により悪化しており、当市におきましても周辺市町村や市民との連帯を図り、公共下水道の整備や高度合併浄化槽の推進などによる水質浄化に努めていきたいと考えております。今後も生活用水、農業用水として引き続き利用ができるような利水対策にも配慮した計画の立案を要望いたします。</p>
	つくば市	鬼怒川・小貝川	<p>つくば市からの要望として、つくば市吉沼地内の糠俵樋管から上郷地内の長峰橋までの約3kmにわたる小貝川左岸に堤防がなく河川氾濫時の越水が危惧されます。</p> <p>堤防未整備箇所があるため、堤防を利用したジョギングコースやサイクリングロードとしては連続性がなく利用価値が低い状況にあります。このため是非堤防の築造をお願いいたします。</p> <p>小貝川クリーン大作戦等の河川美化運動を強化することにより、堤防や河川敷にゴミを捨てられない環境を作っていくことが必要と思われます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 円滑な運転操作が図れるよう、樋管の維持補修をお願いします。 2 つくば市吉沼地内の小貝川左岸(愛国橋南側)で堤防内管理用道路が閉鎖されている箇所があり、地元からの通行可能な要望もあることから利便性を考慮願います。 <p>河川敷に未整備の雑木林があり、その箇所を整備することにより河川敷が拡大し、たこ揚げ大会等地域の事業発展に寄与できると思われれます。</p> <p>小貝川クリーン大作戦の際に、約3kmの堤防未整備箇所はゴミ拾いが行われなため、流域住民の協力を得ながら行う河川美化運動という点に於いても一貫性がなく、堤防整備が必要と思われれます。</p>

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
茨城県	つくば市	霞ヶ浦	<p>つくば市内から霞ヶ浦内に流入する河川は、桜川及び花室川の二河川があります。つくば市は霞ヶ浦に対して、飲料水や農業用水の依存度が高く、利水に関する問題意識は高いと思われます。</p> <p>霞ヶ浦の水環境に関する意見としましては、水質浄化を目的とする水質改善に関することや飲料水や農業用水を供給するための安定した水源としての位置づけに関するところがあるかと思えます。</p> <p>水質浄化につきましては、昭和40年代半ばから湖内水質は悪化してきましたが、水質改善対策等の取り組みにより、水質は改善傾向となってきております。つくば市といたしましても、霞ヶ浦の水質保全を図るため、流入河川の管理等につきましては、一層留意したいと思えます。また、各方面においても、環境基準を下回るための一層の努力が必要かと思えますので、今後ともよろしくお願ひしたいと思えます。</p>
	鹿嶋市	霞ヶ浦	<p>北浦流域において大雨等により高い水位が長時間続くと、堤防浸水現象が起きているため、水位調整の手法(常陸川水門で、上水で水位を調整できるように施設整備を図る等)を検討し、整備すること。</p> <p>1 水質浄化対策</p> <p>1)現在進行中の霞ヶ浦導水事業において、北浦に流入する巴川上流の竪倉立坑から導水することにより、北浦の水質浄化を図る手法を検討すること。</p> <p>2)北浦の低泥からの汚泥負荷溶出の削減を図るため、低泥浚渫事業を実施すること。</p> <p>3)多様な生態系による自然浄化機能の保全回復を図るため、棚木地区及び爪木地区にヨシ・アサザ等植物群落の養浜を復元し、整備すること。</p> <p>2 環境整備</p> <p>北浦河川縁において、地域ニーズを踏まえ、スポーツ・レクリエーション等を楽しめるよう、賑わいのある親水空間を創出すること。</p>
	潮来市	霞ヶ浦	<p>霞ヶ浦は、私たちの生活の源であり、産業資源としてのみならず、環境資源、そして環境教育やレクリエーションの場など、様々な利活用が期待できる、関東圏域における、大変貴重な資源であり、河川整備計画を含め、治水・利水・環境のみならず、各部門が協調し、国あるいは県レベルで総合的な整備と利活用の方針並びに行動計画等の策定が必要ではないか。</p> <p>本計画も、このような方針の中で推進がなされれば、「なぜ植生が減ったのか」、「今の環境のどこが問題なのか」、これまでの事業の評価を踏まえ必要な治水、利水、環境対策のレベル、さらには、本計画の推進上最も重要な「維持管理への対応」や「それにかかわる地域住民、関係機関との連携・協働等」の課題が、より明確な実効性を伴ったなかで構築ができると思われる。</p> <p>特に、潮来市は、水郷の象徴たる河川の水質浄化を目的として、全国に先がけ公共下水道整備をはじめとした、水質保全・浄化に取り組んできた。水面が光り輝き、様々な生き物や植物が健やかに育ち、水辺に暮らす人々と水辺を求めて集う人々との交流が生まれ、活気あふれる場所を提供できる川づくりに取り組んでいただきたい。</p> <p>まず、水質の浄化・保全を第一の目標として、そこに関連する実現性の高い施策を地域住民、民間企業との連携・協力・理解を得て、「新整備計画」の推進をお願いしたい。</p>

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
茨城県	潮来市	霞ヶ浦	<p>(1) 霞ヶ浦の流入支川の中で唯一未整備であった前川の排水機場の事業化が決定し、19年度から本体工事の着工が予定されている。永年の懸案が解決され、地元としても、国のご判断に感謝申し上げるとともに、速やかな事業完了を望むものである。</p> <p>また、本事業は、昭和46年に築造された「前川水門」以来の、大規模な治水対策となることから、事業計画に際しては、再び、前川河口部が、水郷潮来の象徴として再生されるべく、関連部分における景観処理を含めたその環境整備を是非とも期待する。</p> <p>(2) 「利根川水系河川整備基本方針」において、「(3)現況河道計画の概ね尊重」の中で、「被害ポテンシャルの増大に配慮し、現行HWLは上げない」とされているが、治・利水及び植生等水辺環境の保全の観点から、現行水位を維持するだけでなく、極力低く抑えることも検討してほしい。</p> <p>水郷と呼ばれながら、そこに生活する住民と河川の距離は年々遠くなっている。治水対策のための堤防によって分断された住民と河川の距離を近づけるために、水質の改善・植生帯の復元など、河川をかけがえのない地域資源として再生していくべきである。</p> <p>また、本市は、水郷という地域資源を最大限に活用したまちづくりを進めている。近年、霞ヶ浦・常陸利根川における、水上スポーツやバスフッシングが盛んに行われており、有用な交流資源として、積極的に育成・活用していく方針である。</p> <p>特に、親水拠点の整備については、今後も積極的な整備を位置づけるとともに、水郷の象徴たる「常陸利根川」については、流下能力の問題もあるが、植生帯の復元や多自然型護岸の整備を検討していただきたい。</p> <p>特に、河川の環境保全活動は、地域住民・企業・行政が協働して取り組まなければ、成果を期待できない。単なる「川の清掃ボランティア」だけではなく、次世代を育成する環境教育、川との距離を近くする親水イベント等の工夫で、地域の川の環境を守っていく意識改革を、国・県・市も連携しながら実行していかなければならない。</p>
	守谷市	全体	<p>本市を流れている3つの主要河川とその周辺の緑は、環境を支えている自然的な基盤であり、うるおいや安らぎを与える重要なオープンスペースです。このような河川とその緑については、より市民に親しまれるよう、適切な保全と整備をお願いしたい。</p> <p>利根川においては、稲戸井調節池の早期完成を図り、河川空間の保全を図るとともに、河川敷の有効利用として、サイクリングロードや公園等の整備をお願いします。</p> <p>鬼怒川・小貝川においては、自然の地をそのままに釣りや散策など市民の憩いの場となっていますが、自然堤部分の侵食が著しい箇所の改修をお願いしたい。</p>

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
茨城県	筑西市	全体	<p>利根川及びその水系に属する各河川の治水・利水・環境整備事業を流域住民の生命・財産の安全確保と福祉増進の為、以下の事業の早期実現を図って頂きたい。</p> <p>安全で美しい国土づくりを実現する社会資本整備重点計画に基づいて、必要な治水事業を重点的に計画化し、地域と一体となった治水事業推進すること。</p> <p>安全で豊かな国土基盤の形成を図り、活力ある地域づくりに資するため、地域と一体となって治水事業を推進すること</p> <p>水源開発事業を推進すること</p> <p>洪水、土砂災害等に対する危機管理体制を確立するため、防災に係る各種情報の収集及び配信体制の整備など水情報国土の構築を図ること。</p> <p>自然再生などにより河川環境の整備と保全を推進し、地域の実情に応じた河川整備を促進すること。</p> <p>水防関係予算を十分に確保するとともに水防組織の拡大強化を図ること。</p> <p>次に掲げる利根川水系事業を推進すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.利根川、鬼怒川、小貝川、霞ヶ浦等重要河川の整備を図ること。 2.湯西川ダム、利根川上流ダム群再編事業の推進を図ること。 3.霞ヶ浦導水事業の推進を図ること。 4.霞ヶ浦を始めとする河川湖沼の環境整備の促進を図ると共に、水質保全・改善を図ること。
		鬼怒川・小貝川	<p>鬼怒川は、古来より我々の生活と密接な関わりをもっており、豊かな水は肥沃な台地を育み豊かな恵みを与えるとともに産業文化の発展を担ってきました。このような背景のなかで、流域の人命及び資産を守る鬼怒川の治水整備は、まだまだ遅れている状態です。特に下流部においては、堤防の断面を満足していない区間が多く、近年においても無堤防において浸水被害が発生しています。筑西市内においても、左岸 下川島地内において約1500mに渡り無堤防区間が存在しますので堤防築造をお願いいたします。また、戦後復興や高度成長期の砂利採取や上流からの土砂供給の減少、横断工作物および河床材料の影響等により、河床の低下や局所的な深掘れの発生による「低水護岸の抜け上がり」、「橋脚基盤部抜け上がり」による構造物の安全性の低下、老朽化した樋管の機能低下及び周辺堤防を含む安全性の低下が懸念されますのでご配慮をおねがいいたします。</p> <p>鬼怒川流域にとって、農業用水、生活水の貴重な供給源であり、現在は、上流山間部にある五十里・川俣・川治の3ダムによって洪水の調整と水資源の開発がなされています。筑西市においては、勝瓜頭首工より農業用水の取水をしており、水田地帯で利用されたのち、五行川、大谷川で反復利用され、小貝川に流れております。当市は、県内有数の米処として知られております他、「常陸秋そば」、関城地区を中心とした「梨」、協和地区を中心とした「紅こだますいか」、市内全域での「トマト」「きゅうり」といった農産物は鬼怒川の農業用水のおかげでもあります。しかしながら、近年においても湯水が頻発し、取水制限を実施しているのも事実であります。鬼怒川の維持流量確保のため、五十里、川俣、川治ダム及び鬼怒川上流ダム群連携の運用、並びに湯西川ダムの建設を要望します。</p>

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
茨城県	筑西市	鬼怒川・小貝川	<p>鬼怒川(川島橋付近)の水質は流域の負荷削減対策の進展により改善し、一般的な指標であるBOD(75%)で見ると、環境基準値(2mg/l)の半分位の数値になっております。そういった河川水質の改善等により、天然の鮎や鮭が遡上している状況ではありますが、河川横断工作物の下流では河床低下による落差等により魚類の遡上・降下が困難となっている箇所があります。また、攪乱頻度の低下により、高水敷の草地化・樹林化が進み砂川原が減少しており、水辺へのアクセスが容易でない区間があります。その他、「鬼怒川・小貝川クリーン大作戦」などの河川美化活動が地域住民との連携のもと、取り組みが進められているが、悪質な不法投棄が後を絶たない状況であります。こういった、河川環境に配慮した河川整備計画を要望します。</p> <p>河川は様々な要因、時間スケールで状況が変化する自然公物であり、治水・利水・環境という目的に応じて機能を確保する必要があります。鬼怒川は、管理延長が長く老朽化した水門・樋管排水機場が多いため、平常時からの巡視・点検等による修繕・更新が課題と思われる。また、洪水や地震等の災害時に河川管理者と市町及び関係機関は雨量・水位等の状況を素早く、正確に把握し地域住民に対し、迅速かつ的確な情報の発信をし、被害の拡大を防止することが必要であります。渇水に対しては、上流ダム群を適切に運用し、下流の流況を改善すると共に、状況に応じて、関係利水者等で構成する渇水対策のための協議会等の開催を要望します。河川環境の把握には、継続的に生物・水質等の河川環境のモニタリングを実施し、水質事故発生時には、関係機関に速やかに通報・連絡して適切に対応することが望めます。</p> <p>地域連携 下館河川事務所長を座長に国・県の関係機関・流域自治体からなる「鬼怒川・小貝川サミット会議」を中心に「河川コーディネーター」「鬼怒川・小貝川クリーン大作戦」「鬼怒川・小貝川博覧会」「鬼怒川・小貝川助成イベント」等を実施しております。その他、筑西市が河川敷を占用し、地域住民が憩いの場として管理しているものが数多くあります。尚一層のきめ細やかな地域連携の充実が必要であります。</p> <p>環境教育の支援 学校、市民団体、関係機関等と連携し、河川を活用した環境教育を支援し、市民と協働した河川管理が必要と思われま</p> <p>す。</p> <p>過去の大水害の記憶を風化させることなく、水害に対する防災意識を持ち続けると共に、身近な水辺として親しみの持てる鬼怒川であることの広報活動が必要と思われま</p> <p>す。</p> <p>昭和61年8月、300mm/24hrを超える記録的大雨により、上流無堤部からの洪水と、2ヵ所の堤防決壊により、小貝川流域に浸水面積4,300ha、浸水家屋4,500戸の被害を受けました。この大出水を契機として、筑西市におきましては、「河川激甚災害対策特別緊急事業」(河川激特事業S6 1～H2)「河川災害復旧等関連緊急事業」(復緊急事業H11～H14)「特定構造物改築事業」(H13～)「排水施設設置」(H15)等、数多くの治水事業を実施して頂き、治水安全度が高まり、親しみ、愛される小貝川へ飛躍的な前進が図られました。しかしながら、小貝川は、鬼怒川に比べ水防警報が多く発令されるなど、地域住民が安全・安心して暮らせる河川整備はまだまだ遅れている面もございます。特に以下の施策について推進されますよう要望いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.小貝川下流部から中流部にかけては、堤防断面の狭小・高さ不足及び漏水の恐れや実績のある箇所も未だ多く、下流部JR常磐線橋梁から黒子橋までの堤防強化対策の促進。 2.小貝川中下流部には老朽樋管が数多くあり、過去の破堤箇所は樋管周辺に集中していることより、老朽樋管の早期改修。

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
茨城県	筑西市	鬼怒川・小貝川	<p>小貝川の水利用については、鬼怒川の左岸で取水された水の一部が流れ込み、上流から下流に至るまで農業用水等で繰り返し利用されるほか、下流部では工業用水としても利用されております。しかしながら取水堰下流等において流量が少ない時期・区間があります。近年におても度重なる渇水に見舞われております。特に中上流部では水利用の制限も生じております。小貝川流域内には独自の水資源施設が無いことから、霞ヶ浦用水を通して、霞ヶ浦開発事業による水を小貝川への注水等も期待しております。</p> <p>小貝川(黒子橋付近)の水質は流域負荷削減策の進展により、近年は水質環境基準を満足しております。小貝川には、多種・多様な動植物が生息・育成しております。しかしながら、生活様式が変化したことにより、河畔林・湿地などの荒廃等が進み、多種多様な動植物の生息・生育の場が減少しております。その他、魚道が未整備の場所があるため、魚類の遡上・降下が阻害される場所・時期があります。小貝川沿いではネイチャーセンターや桜並木などが整備され、環境学習の場や多彩なレクリエーションの場、人と自然のふれあいの場として活用されております。筑西市におきましても、昭和61年の大水害を契機とした「河川激甚災害対策緊急事業」により生まれた、母子島遊水地内の集落跡地及び小貝川・大谷川河川敷等を利用し、治水等に関する普及啓蒙、環境の保全及びレクリエーション等に資する水辺空間整備について要望いたします。「鬼怒川・小貝川クリーン大作戦」などの河川美化活動が地域住民との連携のもと、取り組みがすすめられているが、悪質な不法投棄が後を絶たない状況であります。こういった河川環境に配慮した河川整備計画を要望します。</p> <p>河川は様々な要因、時間スケールで状況が変化する自然公物であり、治水・利水・環境という目的に応じて機能を確保する必要があります。小貝川は、管理延長が長く老朽化した水門・樋管・排水機場が多いため、平常時からの巡視・点検等による修繕・更新が課題と思われまます。また、洪水や地震等の災害時に河川管理者と市町及び関係機関は雨量・水位等の状況を素早く正確に把握し地域住民に対し、迅速かつ的確な情報の発信をし、被害の拡大を防止することが必要であります。渇水に対しては、状況に応じて、関係利水者等で構成する渇水対策のための協議会等の開催を要望します。河川環境の把握には、継続的に生物・水質等の河川環境のモニタリングを実施し、水質事故発生時には、関係機関に速やかに通報・連絡して適切に対応することが望まれます。</p> <p>下館河川事務所長を座長に国・県の関係機関・流域自治体からなる「鬼怒川・小貝川サミット会議」を中心に「河川コーディネーター」「鬼怒川・小貝川クリーン大作戦」「鬼怒川・小貝川博覧会」「鬼怒川・小貝川助成イベント」等実施しております。その他、筑西市が河川敷を占用し、地域住民が、憩いの場として管理しているものが数多くあります。尚一層、きめ細やかな地域連携の充実が必要と思われまます。</p> <p>[環境教育の支援] 学校、市民団体、関係機関等と連携し、河川を活用した環境教育を支援し市民と協働した河川管理が必要と思われまます。</p>

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
茨城県	稲敷市	霞ヶ浦	<p>河川環境の評価と川づくりの目標の明確化</p> <p>それぞれの河川の自然環境を理解し、良好な環境が残っているところ、悪化しているところは、どこなのか調査を行うことにより、それぞれの河川環境を評価し地域の歴史、文化が育まれるような、目指すべき目標を定めて川づくりを推進することが必要であると思われる。護岸工事等、河川の改修を行う場合、石等の自然の素材を使用したり、植生の回復に配慮すれば良いという事だけでなく、工事や維持管理の目的を明確にして各分野からの専門家からの適切なアドバイスが受けられるような仕組みを整備することが望まれる。</p> <p>自然資源活用イベント等への取り組み</p> <p>治水、利水の整備はもちろんのこと、現在取り組まれている河川ウォーキングや河川湖沼等の自然環境の再認識・保全啓発等を含めた活動、イベント等への積極的な関与・開催、及び自治体等における開催に対する一層の支援強化等の取り組みが必要と思われる。</p> <p>河川の多自然型護岸整備の推進</p> <p>昭和45年に事業着手された霞ヶ浦開発事業による湖岸堤工事や流入河川への水門の建設、機場の建設などの治水整備により霞ヶ浦周辺での安全な暮らしが確保されつつあることが実感できる。また、コジュリンなど霞ヶ浦周辺を生息地としている鳥類など自然環境へ配慮した環境対策も実施されている。しかし、昨今の地球温暖化による影響から異常気象による大雨や農業用排水機場の高性能排水などにより、流入河川の水位が急激に上昇し、湖周辺集落等への逆流に脅かされることが度々見受けられる。このようなことから、流入河川における適正な治水対策や水位管理について今後一層推進されることを望む。</p> <p>霞ヶ浦は、稲敷市内に長い水際線を有する湖として、市民にとって非常になじみの深い水辺空間となっている。しかし、昭和40年代半ば頃から水質の悪化が進行し、周辺の水環境に深刻な影響を及ぼしている。各種水質改善対策により、水質は改善傾向となったものの、近年は横ばいで環境基準を大きく超過しているのが現状である。茨城県が実施している霞ヶ浦に関する世論調査において、『子供でも水辺に近づけるようなアクセス路を設置してほしい』など親水利用に関する意見が多く寄せられている。稲敷市としても水辺で直接水と触れ合うことで水の大切さを知り、水環境に対する意識の向上を図ることが水質改善の基盤となるとともに、子育てなど健全な環境整備にも繋がると考え、下水道整備等の水質浄化に向けた取り組みはもとより、親しみのある水辺づくりを目指して和田岬周辺や小野川桜づつみ等の親水公園をはじめ、水辺を活かした環境整備を積極的に進めている。国においても、水質浄化対策のさらなる推進と子供や高齢者ならびに障害者でも安全かつ気軽に水辺に親しめるような施設及び環境の整備を進めていただきたい。</p> <p>環境学習の充実</p> <p>河川環境の保全のためには、家庭や地域でできる浄化活動の実践するための意識をもつことが必要である。そのため、環境学習の機会を充実させることにより、霞ヶ浦の現状について認識と水環境にやさしくしようという意識の高揚を図り、日常生活でも水質浄化に向けた取り組みを行うことが重要である。</p>

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
茨城県	稲敷市	霞ヶ浦	<p>不法投棄防止対策</p> <p>不法投棄防止対策として、不法投棄禁止の看板設置、パトロール等対策を行っていると思いますが、稲敷市においては、不法投棄多発地域に監視カメラを設置し効果をあげております。費用がかかることではありますが、その対策の一案として検討いただくことを願う。</p> <p>本市としては、市内の霞ヶ浦沿岸堤防で管理用道路になっている部分を市道認定しておりますので、今後国土交通省関東地方整備局霞ヶ浦河川事務所と暫定協定を締結したい。 つきましては、霞ヶ浦河川事務所の事業計画の中で、管理用道路になっている部分の舗装整備を要望いたしますので、河川整備計画の中で霞ヶ浦沿岸堤防の管理用道路の舗装整備推進を願いたい。</p> <p>湖岸周辺域の住民協力による清掃活動やNPO法人等が取り組むアサザ復活プロジェクトなどの活動への支援協力や、学校教育の中の活動での積極的な参加取組みの拡大や、妙技の鼻などの貴重な湿原保全のための、野鳥や動植物保護への取組み強化と関係団体の設立、育成等への働きかけが今後必要な連携・協働活動になっていくと思われる。</p> <p>霞ヶ浦の水質浄化は、稲敷市においても大きな課題であり、霞ヶ浦清掃大作戦等の全世帯を対象とした事業を行っておりますが、今後も行政と地域住民が連携し取り組んでいきたいと思う。霞ヶ浦の水質が「水遊びができるくらい」の水質改善を多くの市民が要望しておりますが、浄化対策の効果が上がっていないのが実情であります。汚濁原因の主なものは、一般家庭からの生活排水が原因と言われていることから婦人団体、環境団体等の協力を得ながら水質浄化のための様々な啓発活動が行われてきました。今後もこれらの団体の協力を得て啓発活動を行い、また水質保全事業である下水道、農業集落排水施設、合併浄化槽は、生活排水処理を推進するための効果的な対策でありますので、国、県、市町村が連携しながら効果的な事業の促進を図ることが必要であると考えます。</p> <p>工事完了後供用開始がされていない、霞ヶ浦導水事業の早期供用開始を要望する。</p>
	かすみがうら市	霞ヶ浦	<ul style="list-style-type: none"> ・ 湖岸線全線にわたり、波浪対策として護岸、消波堤の整備が必要です。特に、田伏地先の沈下箇所については継続的な監視と対策をお願いします。 ・ 霞ヶ浦の水位上昇により排水が困難となり、一の瀬川で冠水が発生しています。築堤、浚渫など内水対策をお願いします。 ・ 農地や農業水路等が、治水対策の役割も担っている現状があります。堤脚水路とは密接な関係にあることから、きめ細かな管理とあわせて、水路の改修や、特に必要と認められる場所へは、排水設備の整備を含めた検討をお願いします。 ・ 浸水想定区域の避難場所、避難経路の整備について配慮をお願いします。地理的な条件を考慮し、地域の特性に合わせた規模の防災ステーションの検討をお願いします。また、管理用道路や橋梁の整備・改良が必要と思われます。 ・ 水田は、生産基盤であると同時に、農村景観を形成し農業の多面的な機能を担う資源でもあります。引き続き、適切な管理により塩害防止に努めるようお願いいたします。

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
茨城県	かすみが うら市	霞ヶ浦	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市では、湖岸地域を水辺交流ゾーンとして位置づけ、環境保全と農業や内水面漁業の振興を図るとともに、歩崎公園を中心とした親水空間の整備やイベント等の充実により市民や来訪者の交流を促進することとしています。また、自然環境との共生による潤いのある居住空間を整備することとしています。これらを目指すうえで、水辺の景観は非常に重要です。魚類の産卵場や稚魚の保護育成場となるほか、水質浄化機能を持つ植生帯の造成や、環境に配慮した護岸、消波堤の整備をお願いします。 ・ 市では、歩崎公園周辺や茨城県霞ヶ浦環境科学センター周辺を、環境保全・交流の拠点と位置づけ、市民と来訪者が、水辺の観光・レクリエーションや環境学習などを通じて活発に交流できるように、各拠点の魅力向上を図るとともに、イベントなどを通じた連携を強化することとしています。 ・ 歩崎公園周辺は、主に観光・レクリエーションの拠点として、棧橋の復元など親水性の向上が求められています。砂浜の再生等の推進をお願いします。 ・ 茨城県霞ヶ浦環境科学センター周辺は、主に環境学習の拠点として、親水性が非常に重要です。県と連携して、野外フィールドの整備促進をお願いします。 ・ 霞ヶ浦の広域ネットワークとして霞ヶ浦自転車道の早期完成が期待されています。引き続き、支援をお願いします。 ・ 湖内湖浄化施設の親水性を生かし、観光・レクリエーションや、環境学習の機能を持つ多機能な施設とするよう検討をお願いします。 ・ 農地や農業水路等の良好な保全管理は、治水対策の役割を果たします。樋門、樋管等の更新に配慮をお願いします。 ・ 農家の高齢化などにより、樋門、排水機場等の操作管理について、操作員の確保や、迅速な対応が難しい状況が見受けられます。これらの、自動制御化の推進をお願いします。 ・ 引き続き、適切な除草管理により、環境保全に努めるようお願いいたします。 ・ 住民による清掃活動を進めていますが、大型のゴミや大量のゴミなどについては対応が困難な状況にあります。早期の対応に向けて、監視・通報などを含め、連携・協働を進める必要があります。 ・ 植生帯等の維持管理には、地域の協力が欠かせません。さらなるPRを期待します。親水性の向上等により、地域住民の憩える空間として整備が進めば、里親制度等の協働意識が高まるものと思われれます。

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
茨城県	桜川市	霞ヶ浦	<p>本市の整備の課題の一つといたしましては、一級河川桜川改修事業の促進を上げております。大雨の度に道路・橋梁及び農地等の冠水や住宅の浸水が頻発し、住民生活に支障をきたしております。このため、一級河川桜川の早期整備が最優先課題です。市内を南北に流れる「一級河川桜川」は、岩瀬工区、大和工区が桜川の上流に位置することから、未改修区間が多く残っております。今日まで、県では用地買収の済んだ区間については、県単独事業により掘削等局部的な工事に取り組んで頂き所期の成果が達成されているところであります。</p> <p>しかし、依然として無堤防の区間が長いことから、大雨の度に道路や農地への冠水が頻発し、学童の通学路が遮断されるなど日常生活に不便をきたしております。</p> <p>今後、北関東自動車道が開通するなど通過交通量の増加も見込まれることから、下流の進捗にあわせて、上流部特に大和工区の早期改修に取り組んでいただきたく御意見申し上げます。</p>
	神栖市	利根川・江戸川	<p>はじめに利根川沿岸の堤防整備について要望いたします。当市は、利根川河口から18.5kmまでの左岸が長い間無堤地区であったことから、利根川上流域も含めて、当市地域が大雨となると河川の水位が上昇し、利根川沿いの太田、矢田部、別所地区等の無堤部地区が、河川からの水の流入により家屋の浸水や道路冠水の被害が発生します。また、堤防整備地区につきましても、河川への排水が悪くなり、内水面の被害が発生します。出水期には、実際に被害にはなくとも、これらの対応に苦慮しているところでございます。治水に関する意見ということで、無堤部への早期築堤をお願いいたします。中でも、現在、整備中である太田、川尻、矢田部地区の堤防の早期完成と、かもめ大橋から銚子大橋まで続く無堤部地区のうち、別所、高野、本郷地区への築堤の優先的な整備をご検討願います。その際築堤事業の実施にあたっては、地域の生活環境等にも配慮を頂き、移転地等地元関係者の意向を尊重すると共に自然環境等へも万全の対策を講じられますようお願いするところです。また、出水期における被害軽減についての協力体制の確立につきましてもお願い致します。</p> <p>次に河川環境につきまして要望いたします。水道事業は、良質で安心・安全な飲用水の供給を図ることが使命であり、その水源については茨城県より供給を受けております。茨城県水の水源は「北浦」であることから、利根川・霞ヶ浦に連結しているため、河川の水環境の保全整備をお願いいたします。</p> <p>次に、神栖市矢田部川尻地区の利根川河口周辺拠点地区整備計画について要望いたします。利根川河口周辺拠点地区整備計画につきましては、平成10年度より国土交通省利根川下流河川事務所、千葉県銚子土木事務所及び銚子市とともに、施設整備の基本方針を策定しました。この計画につきましては、国土交通省との調整により堤防整備完了後に事業着手することとなっておりますので、その具現化になお一層のご協力をお願いいたします。</p>
		霞ヶ浦	<p>河川環境につきまして要望いたします。水道事業は、良質で安心・安全な飲用水の供給を図ることが使命であり、その水源については茨城県より供給を受けております。茨城県水の水源は北浦であることから、利根川・霞ヶ浦に連結しているため、河川の水環境の保全整備をお願いいたします。</p>

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
茨城県	神栖市	霞ヶ浦	<p>常陸川の堤防により息栖地区及び萩原地区等で内水問題が生じております。大雨時には、消防団、及び農家の方々等、市民の協力により揚水ポンプにより被害を阻止している状況です。地球温暖化により降雨量が多い昨今、このような人海戦術に頼ることなく、抜本的対策について、是非ご検討いただきたい。</p> <p>霞ヶ浦の環境に対する意見でございますが、霞ヶ浦は古来より漁業や農業などに限りない恩恵をもたらし、水道・工業・農業用水の重要な水資源になっております。流域における人口増や生活様式の多様化、産業活動の進展などに伴い、霞ヶ浦の水質は依然改善が進まない状況にあります。近年は、北浦の水質が悪化傾向にあることから、霞ヶ浦に係る環境の保全と持続可能な利用について、より積極的な施策の推進を図っていく必要があります。</p> <p>具体的な水質の保全に資する事業として、下水道、農業集落排水施設、浄化槽等の整備など生活排水対策を推進するとともに、アオコ対策事業・生態系の保全・回復に有益な植生態や自然護岸など整備の促進をお願いいたします。なお、北浦の浄化については、現在関係市町村等で協議の場を設けるよう検討しておりますので、関係機関のなお一層のご協力をお願いします。</p>
	行方市	霞ヶ浦	<p>波浪対策については、重要であるため早期にすべきと考える。</p> <p>治水と環境の両側面から、北浦側への緩傾斜護岸等の整備も必要と考えている。</p> <p>大規模底泥浚渫については、北浦側にも必要と考える。</p> <p>水質改善事業により、具体的にどの程度の水質改善が図れるのか目指数値等を示すべきと考える。</p>
	鉾田市	霞ヶ浦	<p>霞ヶ浦については、住民と行政が一体となった水質保全、浄化対策に取り組んでいるところですが、依然水質の改善が進まない状況にあります。そのため、水質浄化などに効果のある霞ヶ浦導水事業の早期完成をお願いします。また、北浦の水質浄化を目的とした、北浦への導水についても具体化について検討願います。</p> <p>十分な現状把握のうえ治水の見地からの護岸整備をお願いしたい。(高水・低水護岸)</p> <p>堤防等構造物の耐震性を向上してほしい。</p> <p>内水被害の軽減策の検討をお願いしたい。</p> <p>水田地帯は土地改良が進み、北浦の水を農業用水として利活用していることから、今後も利活用できるよう水の確保を維持していただきたい。</p> <p>北浦の水は飲料水の原水として利用されている大切な資源となります。 本市の水道事業においては、水源のほとんどを鹿行広域水道用水供給事業(北浦を原水)より供給を受ける計画となっています。 水源の水質悪化は浄化経費の増加につながり、最終的には水道利用者への負担を求めることとなります。 今後の河川整備計画につきましては、原水の確保の点から安定した水量と浄化について取り組んでいただきたいと考えます。</p>

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
茨城県	鉾田市	霞ヶ浦	<p>霞ヶ浦・北浦の湖内整備については、住民要望も高いように湖沼の浄化と汚濁の防止が特に必要とされています。湖沼の水質汚濁は、有機物質の流入と窒素、リンなどの流入によるものが主な原因となっていることから、湖沼内では抽水植物帯の計画的な整備と流出水対策地区下流域におけるウエットランドの設置を図り降雨時の汚濁負荷軽減を確立されたい。また、現在、北浦においては底泥の浚渫対策がおこなわれていないため、荒天時には底泥の巻き上げなどにより、水の変色や悪臭の原因になっていると考えられるので、北浦においても浚渫事業等を取り入れていただきたい。北浦に流入する河川については、全窒素の改善が図れない原因として、生活排水対策、家畜排せつ物対策および農地対策があると考えられるので、流域に係る機関、住民、事業者等が一体となった取り組みを行う施策を講じる必要があります。</p> <p>かつては豊富であった漁獲量が水質汚濁等、さまざまな要因により、減少傾向にあり、漁業資源の維持を図るため、養殖業や稚魚の放流等で補っています。今後は過去のような漁獲量が望めるような環境づくりに向けた整備計画を推進していただきたい。</p> <p>整備メニュー概要にある「水防拠点の整備」を鉾田市内に事業計画していただき、周辺環境とあつた整備とともに、通常時には公園として利用できるような事業計画の策定をお願いしたい。</p> <p>北浦沿岸の樋門や船溜りの老朽化が進み、今後修繕等が必要になってくると考えられるので、洪水対策上も修繕に対する支援を考慮していただきたい</p> <p>霞ヶ浦、北浦の水質浄化には、地域住民一人ひとりが危機感をもった行動が必要であり、日常生活において水質浄化に向けた積極的な取り組みを自ら実践することが重要である。そのため、関係機関は霞ヶ浦、北浦の負荷軽減となる手法方策を提供し、住民一人ひとりが湖を意識し、自らが行動することで水質の浄化になる必要性を周知する必要がある。また、霞ヶ浦問題協議会主催で行っている霞ヶ浦清掃大作戦は、霞ヶ浦、北浦の現状を知る良い機会であり、合わせて河川などの環境美化の必要性を周知する機会となっているので、今後も沿岸自治体などと連携していただきたい。</p> <p>現在、北浦上流に下水道の処理場予定地として占有している土地については、処理場の建設が始まるので、今後も各方面で協力をお願いしたい。</p> <p>水質浄化・近年、北浦ではアオコが発生し、その一部は市街地を流れる河川でも見られるようになり、悪臭を放つなどの被害があります。また、波浪時には低泥の巻き上げによる水の変色も見られます。北浦の水は、鹿行広域水道より飲料水として供給される原水であり、また、周辺の田へは農業用水としても利用されています。そのため北浦の水質浄化として、北浦の底泥の浚渫や河川からの水質悪化物質を浄化するウエットランドの整備を進めていただき、さらに、植生の回復による浄化の方策を計画的に整備していただきたい。</p> <p>環境学習と水防拠点・当市には北浦に面する場所に、下水処理場を計画しており、隣接して安塚公園と環境学習施設のエコ・ハウスを整備しています。また、下水処理場の整備計画では、周辺の環境整備を行う計画としています。そのため市の整備計画と併せて、環境学習の場づくりや水防拠点の整備等の事業を行っていただきたい。</p>

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
茨城県	つくばみらい市	<p data-bbox="403 228 622 483">全体</p> <p data-bbox="403 486 622 1444">鬼怒川・小貝川</p>	<p data-bbox="627 228 2089 323">利根川水系河川整備計画につきましては、日ごろから格別なるご高配を賜り心から厚く御礼申し上げます。近年、各地で異常気象による集中豪雨や大型台風の襲来による大規模な水害、地震等の自然災害が相次いでおり、その一方で、高齢化などの社会的要因に伴う地域防災力の低下、水防体制の脆弱化が進行している状態です。</p> <p data-bbox="627 327 2089 459">このような度重なる災害や社会的要因を踏まえ、利根川水系近隣地域住民の「安全・安心」の確保が重要な課題となっています。堤防の決壊等河川災害による災害を軽減させ、地域住民が安心できる暮らしを実現し、維持していくためには、災害に強い川づくり、また、各地で水辺プラザ等親水施設の整備が進められていますが今後も、人や自然に優しい川づくりに取り組んでいただきたい。</p> <p data-bbox="627 486 2089 651">具体的な鬼怒川の整備内容を示した河川整備計画を策定し、地域と一体となった治水事業の推進を図ることを要望します。また、治水事業に係る国庫補助負担金は、国民の生命財産を守る上で必要不可欠であることに鑑み、その削減により安全・安心な地域社会の構築に支障を及ぼす事のないよう、最大限の配慮をお願いします。当市が位置する鬼怒川下流部では、河床低下と局部洗う掘が著しく、樋管・護岸・堤防等の河川管理施設に与える影響が大きいため河床低下対策や護岸整備の促進を要望します。</p> <p data-bbox="627 654 2089 722">鬼怒川の水は、農業用水、水道用水、工業用水等、多目的、広域的に利用されていることから、水量・水質の現状を踏まえて水利用の安定性を確保できるようお願いします。</p> <p data-bbox="627 742 2089 874">都市化及び高齢化の進展、生活形態の多様化が進む中で、すべての人に優しい河川環境の整備が期待されています。鬼怒川沿川は、田園地帯が広がり、中・下流部では市街化区域に接している区間が比較的多く、病院、学校、社会福祉施設等が点在し公園自然観察施設、運動施設としての活用や多種のイベント等に利用されており、日常的に多様な活動ができる水辺空間が求められています。</p> <p data-bbox="627 877 2089 909">そこで鬼怒川の沿川の自然、歴史的文化遺産や地域特性を活かした河川環境の整備を進めていただきたい。</p> <p data-bbox="627 912 2089 981">また、クリーン大作戦等を行い地域住民と連携を図り河川美化活動等を実施しておりますが、悪質な不法投棄等があるので、さらなる啓蒙活動等の実施をお願いしたい。</p> <p data-bbox="627 1000 2089 1069">河川の維持管理は、治水、利水、環境を総合的に勘案して行う必要があると思うので、鬼怒川の特性を踏まえつつ、鬼怒川において確保されるべき維持管理を実施していただきたい。</p> <p data-bbox="627 1088 2089 1193">市町村等が実施する水防活動や避難の措置が円滑、確実にいえるよう、市町村等との一層の連携を図っていただくとともに、地域住民、関係機関等との協働により実施している清掃や除草等の活動をさらに推進し、積極的に連携・協働するべきである。</p> <p data-bbox="627 1212 2089 1292">小貝川下流部においては、つくばエクスプレスが開通し、地域の人口・資産は今後ますます増加している中、地域の人命及び資産を守る治水整備はまだまだ遅れており、小貝川整備の一層の促進を図って頂きたい。</p> <p data-bbox="627 1295 2089 1391">具体的な整備内容を示した小貝川河川整備計画を策定し、地域と一体となった治水事業の強力な推進を要望します。小貝川下流部から中流部にかけては、堤防断面の狭小・高さ不足及び漏水の恐れや実績のある箇所も未だ多く、下流部JR常磐線橋梁から黒子橋までの堤防強化対策の推進をお願いしたい。</p> <p data-bbox="627 1394 2089 1426">また、小貝川中下流部には老朽樋管も数多くあるため早期の改築もお願いします。</p>

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
茨城県	つくばみらい市	鬼怒川・小貝川	<p>小貝川においては、農業用水等で利用されていることから、水量・水質の現状を踏まえて、水利用の安定性をお願いしたい。</p> <p>都市化及び高齢化の進展、生活形態の多様化が進む中で、すべての人に優しい河川環境の整備が期待されています。小貝川沿川は、多種・多様な動植物が生息・生育しているので、自然観察施設、公園等沿川の自然、歴史的文化遺産や地域特性を活かした河川環境の整備を進めていただきたい。</p> <p>河川の維持管理は、治水、利水、環境を総合的に勘案して行う必要があると思うので、小貝川の特性を踏まえつつ、小貝川において確保されるべき維持管理を実施していただきたい。 また、悪質な不法投棄等ゴミ問題にも積極的に取り組んでいただきたい。</p> <p>市町村等が実施する水防活動や避難の措置が円滑、確実にいえるよう、市町村等との一層の連携を図っていただくとともに、地域住民、関係機関等との協働により実施している「鬼怒川・小貝川クリーン大作戦」等の清掃や除草等の活動をさらに推進し、積極的に連携・協働すべきである。</p> <p>内水処理の件についても、当つくばみらい市の本田排水樋管改修を行っていただいているところですが、既設の本田排水機場樋管(ポンプ排水)もあることから一体的な排水計画に基づき改修等の実施をお願いします。</p>
	小美玉市	霞ヶ浦	<p>河川整備基本方針に即し、かつ公害防止計画が定められている地域の河川にあっては公害防止計画との調整をはかりながら、河川の総合的な管理を確保できるよう定められております。これらについて河川は降雨量・地形・その他の事情によりしばしば洪水による災害が発生している区域については、災害の発生を防止し、災害を軽減するための必要な措置が望まれます。</p> <p>小美玉市地域については湖岸堤が既に整備されております。堤防も湖特有の波浪・洪水流による越水や洗堀で破壊されたり、堤防地下を流れる浸透流によって漏水破壊されることも考えられます。堤防の破壊を防ぐため、堤防護岸・法面の補強、洪水流による堤防侵食の防止対策が望まれます。また、コンクリート張りの堤防護岸や川床は治水対策の上で大きな効果を得られますが霞ヶ浦が本来有していた生態系を喪失・劣化させております。そのための自然に近い形で河川整備等の取り組みが望まれます。</p> <p>霞ヶ浦は上水道や農業用水・工業用水の水源として使われております。その水質は良好とはいえない状況がつづいております。こうした状況の中で、底泥の浚渫事業の促進また霞ヶ浦導水事業の早期完成が望まれます。</p>

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
茨城県	小美玉市	霞ヶ浦	<p>現在国の霞ヶ浦水質の浄化対策として、小美玉地内では高崎湖岸沖に消波施設が設置されハスやヨシが群生し自然環境の保全と水質浄化に役立っています。さらに園部川河口に、湖内植生浄化施設が完成しています。また、大規模浚渫事業や霞ヶ浦導水事業などの水質浄化対策がすすめられているところです。</p> <p>今後期待する取り組みとしまして、大規模浚渫事業の促進・霞ヶ浦導水事業の早期完成・下水道事業や高度処理浄化槽設置事業による流域対策の充実・自然環境保全及び創出事業の推進などが望まれます。</p> <p>小美玉市としまして、環境保全や水質浄化に対する啓発を住民参加の取り組みにより実施していきたいと考えています。行政と地域や企業が一体となって取り組むとともに、子供たちへの環境教育もあわせて推進してまいりたいと考えています。こういった取り組みに対する支援を期待するとともに、現在、小美玉市下玉里の霞ヶ浦に面した場所に市が所有する敷地約22,000㎡の有効活用として、霞ヶ浦と人がふれあう親水公園的な整備に対する知恵や助成を望むところです。</p> <p>小美玉地内において、台風や前線等による洪水時には水位が上昇し強風・波浪等が発生します。それにともない湖岸付近に流入河川から入り込む流木・ゴミ等も多く打ち上げられ、湖岸景観の阻害要因ともなっております。地域との連携を図ると共に、引き続き対策について望むところです。</p> <p>小美玉市としても、クリーン作戦の一環として住民主体によるゴミの除去、河川美化・環境改善を毎年2回、自治体、河川管理者と協働して行っております。ゴミの投棄等をしないマナーの向上啓発や川の魅力の再発見について図っているところであります。環境保全や水質浄化に対する啓発を住民参加の取り組みにより実施していきたいと考えております。</p>
	美浦村	霞ヶ浦	<p>霞ヶ浦は、依然水質改善が進まない状況にありますが、霞ヶ浦、桜川等の水質浄化及び新規都市用水の確保、既得用水の安定的確保等のために、1984年に工事が着工された霞ヶ浦導水事業の早期完成を図ることが、水質浄化の打開策であると考えます。この事業の更なる促進を要望いたします。</p> <p>東京医科歯科大学霞ヶ浦分院跡地の一角を洪水や地震等の災害時における水防活動上の備蓄拠点として、今後、国土交通省が整備する計画があると聞いておりますが、この場所は、霞ヶ浦河川事務所土浦出張所と潮来出張所お中間点に位置し西浦の広い範囲をカバー出来ることから、早急な整備をお願いします。</p> <p>また、湖岸スロープの利用者も多いことから、トイレ施設等の設置も併せてご考慮いただきたい。</p> <p>美浦村大山地先湖岸スロープは、鹿島海軍航空隊跡地の一角にあり、戦時中は訓練用の水上機を陸に上げたり、湖上へ押し出すためのスベリとして使用していました。</p> <p>現在は、ジェットスキー、ウインドサーフィン、バス釣りにと、このスロープは欠かせないものとなっており、平日はもとより、土・日曜日には、県内や首都圏各地より、200～300台の車で来訪し、多くの方々に利用されています。今後、堤防の整備を検討する上で、戦争史跡という財産及び親水という観点からスロープの保存、活用もご考慮いただきたい。</p>

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
茨城県	美浦村	霞ヶ浦	<p>湖岸の植生帯が年々減少しております。近年、国土交通省が実施している霞ヶ浦湖岸植生再生事業等により、本村においても自然環境を取り戻した湖岸部分も多く見受けられることから、本事業の積極的な展開を要望します。</p> <p>ゴミの不法投棄については、釣り愛好者、湖上レジャー利用者等のマナーを徹底させる周知が必要と考えます。</p> <p>土浦～潮来方面の霞ヶ浦北岸地区については、サイクリングロード整備が進んでおりますが、霞ヶ浦の観光開発、親水という観点からも、南岸地域においても早急な推進をお願いします。</p> <p>また、霞ヶ浦の景観形成と一般利用者に対し木陰を提供するという観点からも、桜並木や柳並木を霞ヶ浦護岸堤に数ヶ所整備されることを提案します。</p>
	阿見町	霞ヶ浦	<p>新たに整備計画を策定するにあたり現計画の前提になっている水利用計画や河川改修計画等が、計画と実態がずれている(整備が遅れている)ので見直しをしていただきたい。</p> <p>市街地形成に不可欠な雨水対策の処理については、放流先である河川の能力が小さいことから開発区域内で雨水調節池の整備を行うケースが多い。そのため整備に必要なコスト面から事業者負担が大変となっている。従って、開発指導並びに土地利用や整備構想を策定するにあたり霞ヶ浦を含め、流入する河川の整備計画や具体的な時期について示していただきたい。</p> <p>河川の一部を親水空間とした検討(都市計画マスタープラン都市整備構想の課題)については、公園的利用があることと、自然環境の保全、活用など広く地域住民にPRしていただきたい。また、河川の親水性を高める整備方法について霞ヶ浦湖岸の利活用が考えられる。そのため、全体構想の中で町の公園整備との調整を図っていただきたい。</p> <p>湖岸堤では、阿見町の一部で未施工部分がある。全てが整備され一体としてつながることで治水対策はもちろんのこと、大きな効果があるため早期対策を実施されたい。</p> <p>都市化の進展により、保水機能が少なくなり流出量が増加することから浸水区域が懸念される。霞ヶ浦を含め河川の具体的な計画が分からないと、総合的な治水対策が図りづらい。</p> <p>霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画(第5期)(案)に示されている「泳げる霞ヶ浦」「遊べる河川」を実現するためには、水質の改善だけでなく、河川を親しみやすくする構造にする必要があると考えられる。水際に人々が集まれるよう、親水性を高める工夫をしていただきたい。</p> <p>阿見町において、公園・緑地・平林等の里山に対する制度を活用しながら、緑地保全や管理などを行っていることから、国等においても霞ヶ浦湖岸などで地域協働のうえで活用できると思われる。</p> <p>近年、アオコの大量発生は減少傾向にあるが、霞ヶ浦の富栄養化等により水質は改善されず、悪臭を放つなど周辺環境・景観を悪化させている。流入河川等の水質改善対策も含め、国、県、市町村等で連携し、今後も重点的にアオコ等の対策を行ってほしい。</p>

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
茨城県	阿見町	霞ヶ浦	<p>地域の理解を得ながら、国・自治体と地域が連携し協働する体制づくりが必要であり、それぞれの立場で努力すべきである。</p> <p>都市整備に伴う雨水排水対策としての下水道幹線や河川等の都市排水対策は、都市の安全を守る基盤的施設である。従って、これらの施設計画にあたっては、下水道河川等の関係機関により計画規模や放流条件等について調整を図り、適正かつ整合性のとれた目標を設定し、事前に調整しておく必要がある。</p>
	河内町	利根川・江戸川	<p>スーパー堤防は、(スーパー堤防と町づくり)によると「計画を超える超過洪水による壊滅的な被害から人口、資産が集中する大都市を未然に守るための事業」とありますが、地方の災害を未然に防止する対策についても同様の整備事業を望みます。当町としては、次の整備事業について取り組んでいただきたく要望いたします。</p> <p>利根川堤防道路の拡張整備。</p> <p>国土交通省が把握している脆弱な堤防部分の補強整備。</p> <p>スーパー堤防を築堤し、河川敷を利用した親水公園等の整備。</p>
	八千代町	全体	八千代町における直轄河川、鬼怒川につきまして今後も取り組んでほしいことは、老朽化している排水樋管の改築工事であります。順次改築はなされておりますが、まだ未改築の箇所がありますので、要望にもなりますけれど、対応していただけますようお願いいたします。
		鬼怒川・小貝川	河川敷や維持管理につきまして、粗大ごみ等の不法投棄が見られますので、パトロールを強化していただき、適正な除草作業をお願いします。八千代町において、堤防のゴミ拾いをおこなっておりますが、草がおい茂って、ゴミが見つからないということもありました。今後も、美しい水辺環境を維持するため、町民の河川に対する愛護意識の高揚、美化運動の推進を図ってまいりたいと思います。
	五霞町	利根川・江戸川	<p>利根川 利根川・江戸川の「堤防の重要性」及び治水に対する信頼性を向上させるためにも堤防強化事業の更なる促進を願いたい。</p> <p>五霞町地先の河川敷は樹木が成長し、洪水時における流下の影響や堤防への影響も考えられるが、樹木の伐採を行なう場合は、水辺環境の保全にも配慮していただきたい。</p> <p>五霞町川妻地先から栗橋地先にかけての利根川の右岸は高水敷が狭く、堤防間際に深掘れが見受けられるとのことであるが、それらについて対策を実施していただきたい。</p> <p>河川環境保全の面から不法投棄等の監視体制の強化も急務であるとおもわれる。</p> <p>江戸川 江戸川流頭部にある関宿水閘門(五霞町地内)は、江戸川の流量・水位調節を目的に建設された利根川治水のシンボリック構造物であり、建築様式もレンガ構造からコンクリート構造物へと歴史的土木構造物として保存願います。</p>

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
茨城県	五霞町	利根川・江戸川	<p>中ノ島公園のコブシは関東地域でも最大級であり流頭部改修に際しては中ノ島公園が引き続き利用できるよう配慮願います。</p> <p>江戸川堤防の天端を舗装し、平常時は水閘門・中ノ島公園のアクセス道路及びサイクリングロードとして活用し、非常時には防災ステーションからの資材搬出が行なえる多目的道路を整備計画に位置づけ願います。</p>
	利根町	利根川・江戸川 鬼怒川・小貝川	<p>利根川及び小貝川の整備について</p> <p>本町は、その名のとおり「利根川」と共に歩んできた水辺の町です。坂東太郎の異名を持つ利根川の歴史は、まさに町の歴史でもあります。その歴史は、江戸時代の利根川の東遷事業に遡ります。</p> <p>利根川の流路を当時の江戸湾から銚子へと替え、江戸を利根川の水害から守り、合わせて農業用の用水路も整備して新田開発を推進し、また米や物資を舟で地方から江戸に、江戸から地方に運ぶ交通・運搬体系の確立を目的として行われたこの東遷事業は、川沿いのまちに住む人々に計り知れない恩恵を与えてくれました。その一つに河岸の存在があります。舟による物資の運搬が整備されると、その荷物の積み下ろし場である河岸が、川沿いの町に多く造られました。その河岸はやがて宿場町を生み、当時の本町も、このような水運の要衝の地として大層な賑わいをみせたと伝えられています。</p> <p>また利根川は、肥沃な水田を潤す源となり、春夏秋冬にはさまざまな表情を見せ、四季折々の景観と相まってまちを美しく彩り、自然の豊かさとしさを人々に教えてくれました。しかしその一方で、日頃はゆったりと流れる大河も、これまでに幾度となく荒れ狂い、人と水との闘いが延々と続いた時期もありました。そこで先人たちは、「水塚(みづか)」と呼ばれる宅地内の一部を母屋よりも高く盛土し、その上に蔵などを建て、米や味噌、醤油などを備蓄し、水害時の避難場所を造りあげ身を守りました。その水塚は、人と水との共存の知恵を結集した貴重な財産として、現在に受け継がれています。このように、古来より水害から身を守り、水田を守ることが住民共通の願いであり、町の最重要課題にも位置づけております。</p>
		利根川・江戸川	<p>そもそも本町は、町の西部で利根川に小貝川が合流し、利根川の布川狭窄部の影響もあって、小貝川に利根川の濁水が逆流し、しばしば大きな被害をもたらしております。その一つに、未だ記憶に残る小貝川の決壊があります。昭和56年8月、関東地方を襲った台風15号によって小貝川高須橋上流の左岸が決壊し、その濁流は本町の約900ヘクタールの田畑を冠水させ、秋の収穫をまじかに迎えた水稻を直撃し、農作物の被害額は、約5億円(当時)と推定されるなど甚大な被害をもたらしました。そのような中、昨年2月に策定された利根川水系の河川整備基本方針による整備計画では、当初、利根町布川上流で計画されていた放水路が、布川下流に変更されたこともあり、これによって布川の計画高水流量が、これまでの計画に比べ増大したことを非常に懸念しております。また、近年は異常とも言える気象変動で、記録的な豪雨や多数の台風が上陸し、国内各地で被害が多発しています。いつ本町にも被害が襲ってくるか不安でなりません。豪雨や台風で利根川が増水するたびに、昭和56年8月の悪夢を思い出し、町民は不安を募らせ、眠れぬ夜が続きます。地元消防団は、昼夜を問わず水防警備にあたるなど、その対応に努めております。</p>

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
茨城県	利根町	利根川・江戸川	<p>現在国土交通省を始めとする関係機関のご尽力により、本町内で、押付地区高規格堤防整備事業が進められております。これにより、堤防が格段に強化され、これまで長い歴史の中で、水害に悩まされ、そのたびごとに不断の努力を払ってきた本町町民にとっては、大変喜ばしい限りであります。我が国最大の流域面積を持つ利根川流域では、大きな水害が起こるたびにその対策が施され、堤防が強化されてきました。</p> <p>江戸時代、利根川東遷事業から端を発した利根川との関わりの中で、この高規格堤防整備事業は、まさに町の歴史に残る一大事業であり、町民こぞって一日も早い完成を望んでいるところであります。また合わせて、さらなる危機管理体制の強化のためにも、押付地区高規格堤防整備事業地内に「危機管理対応施設」の整備も強く望んでおります。この危機管理対応施設の一つである「防災ステーション」については、利根川右岸側(千葉県側)では、千葉県印旛郡栄町に整備され、千葉県香取市においては整備中とのことでありますが、左岸側(茨城県側)には、まだ整備されておられません。有事の際、利根川両岸沿線地域の危機管理体制の均衡と充実のためにも、茨城県側である本町内に、防災ステーションを設置していただきたく要望いたします。</p> <p>以上ご勘案の上、特段のお取り計らいをよろしくお願い申し上げます。</p> <p>利根川桜堤周辺の遊歩道整備について</p> <p>平成16年度に国土交通省のご協力を頂きまして、利根町民が川と緑に親しみ、人とふれあう憩いの場を創設することを目的として、桜の里親を募り利根川の景観を生かした、町のシンボルである桜の木182本、総延長900mにわたり利根川堤防上部に植栽し、好評を得ているところであり、今桜の木の生長を心待ちにしている状況であります。この桜の木の生長とともに多くの住民が堤防に訪れいこいの場となっておりますけれども、もっと身近に川と親しめる空間作りとして堤外部を利用した水辺を散策できる遊歩道等を整備することにより、地域住民、また子供達が川とふれあえる環境づくりができるものと考えますので、ご一考いただきたくお願いするものであります。</p> <p>小貝川水辺ふれあいの場整備について</p> <p>我が町から観る小貝川は、利根川と合流する小貝川の最下流に位置し、戸田井橋周辺及び利根川に沈む夕日を望むすばらしい景勝地であります。この堤外にあります上曽根運動公園から小貝川の水辺に降りる遊歩道また、なだらかな斜面を利用して、小さな子供たちが安全に芝滑りが楽しめ、さらに水辺で遊べる場を整えたいと考えます。</p> <p>前述しました利根川水系での利根川堤防に整備いたしました、桜堤までの水辺を散策できる一体的な整備を図ることで、親子でまた、地域住民誰もが川とふれあえる環境づくりができるものと考えますので提案をさせていただきます。</p>

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
栃木県	宇都宮市	鬼怒川・小貝川	<p>本市でも左岸の一部に無堤防箇所があることから、堤防築造の推進を要望します。現在ソフト対策としてハザードマップを作成していますが、地域との意見交換の際、「河川利用者の災害時の活用や、ハザードマップのPRに有効と思われる堤防にマップの看板設置」の提案がありました。貴重なご意見でありますので是非検討をお願いします。また、石井水位観測所の目盛りが見づらいとの意見もありましたので、併せて検討をお願いします。</p> <p>河川敷の森林化が目立ってきていますが、ホームレスが住みつき易くなることから、環境への配慮など必要な箇所以外については、樹木の間引きなどの検討をお願いします。</p> <p>・本市より排水樋管の点検を委託している民間の方より、点検し易い施設への改良など、以下の提言がありましたのでご配慮をお願いします。水位標を確認するための、階段の設置。水位標の目盛りが見づらくなってきている。 ・運動公園周辺が、家電製品や粗大ゴミの投棄が多く、石井出張所においてもその防止対策として、監視カメラを設置し対策を講じていますが、不法投棄が後を絶たない状況にあり、公園管理においても対応に苦慮しております。改めてゴミの対応などをお願いします。</p>
	足利市	全般	<p>【利根川水系全体について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年多発している局地的大雨に対応できる川作りを行ってほしい。 ・コンクリート護岸でなく、自然環境に配慮したものにしてほしい。 ・過去に作られた計画について、現状にそぐわなくなった点があれば、見直しを行ってほしい。 ・渡良瀬遊水池の治水容量が足りないので確保して下さい。
		渡良瀬川	<p>【渡良瀬川について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画断面が確保されていない箇所があるので確保をお願いしたい。 ・大雨時のダム放流については、事前に始めるなどして、急な増水・大幅な増水がないようにしてほしい。 ・内水被害防止施設の整備をしてほしい。 ・堤防の強化と防災ステーションの早期完成による防災拠点の整備をお願いしたい。 ・堤防の低い部分を早急に改善してほしい。(市が管理する排水施設が脆弱なため施工ができない箇所については、費用負担について配慮していただきたい) ・中橋から田中橋間の河川敷の整正をしてほしい。 ・清流と呼べる川にしてほしい。 ・水遊びのできる場をもっと提供してほしい。

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
栃木県	足利市	渡良瀬川	<ul style="list-style-type: none"> ・住民にとって身近で、行きたくするような期待を抱かせる河川にしてほしい。 ・河川環境がよくなっているのか、よくわからないので情報の提供をもっと行ってほしい。 ・親しみがもて、安全で多目的に利用できる河川にしてほしい。 ・親水性の確保、安全性のある親水護岸や遊歩道を設置してほしい。 ・自然環境の保全を、瀬や淵をもうけてハビタットの保全をしてほしい。 ・水生生物の生息空間の確保や河畔林の保全をしてほしい。 ・事業、工事にあたっては自然環境への配慮をしてほしい。 ・地元著名企業製品であるゴムボートを使ってイベントができるよう、渡良瀬橋から田中橋まで、河床を整えていただきたい。(市の記念行事などのイベントに) ・堤防に影響を与えるカラシナ等が成長する前に除草する必要がある。 ・河川には危険な場所が多いので、事故が一件でも減るようにしてほしい。 ・水害に備える情報収集、配信体制を国県市で連携して準備する必要がある。 ・施設は国が作るが、維持管理は地元で、という考え方では長続きがしないのではないかと。
	佐野市	全般	<p>【利根川水系全体について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化に伴う異常気象により、短時間にゲリラ的に集中豪雨が多発しており、急激な水位の上昇も予想される。今後の川づくりとしては、先ず、治水上の安全を図ることを最優先に、昨今の異常出水も考慮した川づくりを検討していただきたい。 ・河川に生息する動植物に配慮し、また、地域の状況と河川環境が調和のとれた、多自然型の川づくりを進めていただきたい。 ・場所によっては、河川に樹木が生い茂り、河川内の様子が見えない箇所がある。不法投棄や犯罪の抑制のため、自然環境に影響を与えない程度でうっそうとした部分の樹木伐採等配慮をお願いしたい。
		渡良瀬川	<p>【渡良瀬川について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考資料によると、堤防詳細点検の結果、浸透に対する安全性が不足する区間があるため、対策工を速やかに検討していただき、整備の実施をしていただきたい。 ・渡良瀬川から農業用水として取水しているので、整備計画に当たっては湯水期においてもできるだけ機能を確保できるよう、配慮願いたい。

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
栃木県	佐野市	渡良瀬川	<p>・佐野市船津川地先の渡良瀬川河川内に公園整備を実施しています。公園利用者などによる緩斜面堤防を利用した観戦のため、緩斜面堤防の整備延長をお願いします。低水位護岸からの水辺空間利用や高水敷の保護のため、低水護岸の整備延長をお願いしたい。施設等の利用のため、進入路の舗装をお願いしたい。</p> <p>・草や葎などによる見通しの悪いところへの不法投棄があり、定期的な草刈りをしていただきたい。</p> <p>・河川内の通路や進入路等、穴が開いているなど自転車や自動車の通行が困難な箇所が多数あるため、定期的な補修をお願いしたい。</p> <p>・地域住民のニーズを反映した効果的な水害対策や環境整備など、地域と連携した川づくりを進めていただきたい。</p> <p>・毎年春に渡良瀬川クリーン運動に参加している。佐野市では、2会場に分かれ隣接町内会、市職員、企業の参加など多数の市民参加により一斉清掃を行っている。今後ともこの運動に積極的に参加協力し、協働のまちづくりを進めていきたい。</p>
	鹿沼市	利根川・江戸川	<p>1. 河川整備について</p> <p>・住民の生命と財産を守る観点から計画対象外河川の危険箇所調査、実施計画への位置づけをしていただきたい。</p> <p>・安全・安心の観点から現地に配慮した堤防の調査や整備をしていただきたい。</p> <p>・地域に即した観点から地域の特性に配慮した河川整備をしていただきたい。</p> <p>・自然環境の観点から多自然型河川整備をしていただきたい。</p> <p>2. 南摩ダム事業について</p> <p>・水没者等の移転も考慮し、早急なダム本体工事の着手をお願いしたい。</p> <p>・ダム本体工事等については周辺住民への影響を考慮し、騒音や振動・粉塵などに配慮した施工をお願いしたい。</p> <p>・ダム事業によって自然への影響も懸念されることから人工的な自然回復にも十分配慮をお願いしたい。</p> <p>・ダム事業による周辺住民への影響を緩和するため起業者による整備事業の検討をお願いしたい。</p>
	日光市	鬼怒川・小貝川	<p>(1)上流の水源地域としては、森林環境保全や水質汚濁防止等の施策を展開していますが、この上流地域と中下流域との、連携、支援、啓発事業等について、計画計上をお願いします。</p> <p>(2)当市内においては、鬼怒川や大谷川の河川敷利活用や沿川の自転車歩行者道等の整備等を行っていますが、これらと中下流地域を結ぶ自転車歩行者道の全線ネットワーク化について、計画計上をお願いします。なお、自転車歩行者道は太陽光や流水を利用した小電力発電による街路灯や監視・案内システムを整備するなど、女性や子どもにも安全安心な施設の整備をお願いします。</p> <p>(3)日光地域のダムについては、ダムの複合機能及び周辺の豊かな自然環境や貴重な文化や歴史を活用し、周辺住民、下流域住民、観光客等との水源地域ダム周辺活用交流事業の創設推進が図られるようお願いいたします。</p>

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
栃木県	日光市	鬼怒川・小貝川	(4)水源地域等のダム制御及びダム関連情報の提供について、近年の社会経済情勢の変化や異常気象等に対応した総合的かつ合理的な利水、制水システムを構築すると共に、緊急時等における、携帯電話などIT機器を活用した個人レベルに対する情報提供システムの構築などをお願いいたします。
	小山市	利根川・江戸川	(1) 渡良瀬川水系 <ul style="list-style-type: none"> ・渡良瀬遊水地第二調節池の掘削による治水容量の確保と堤防強化 ・思川の河床掘削による流下能力の確保と堤防強化による治水能力の強化 ・渡良瀬遊水地第二調節池の付近に防災拠点となる、多機能型防災ステーションの新設 ・渡良瀬遊水地や思川などの自然環境保全に配慮した河川整備の実施 ・利根川や渡良瀬川からの背水影響区間に当たる思川及び巴波川・永野川の国管理区間の延伸
		鬼怒川・小貝川	(2) 鬼怒川水系 <ul style="list-style-type: none"> ・小山市大字中島地内の中島橋周辺地域における水辺の拠点整備の促進と自然環境保全 <p>以上について、国におかれましては特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>河川の整備に当たっては自然の景観や環境保全、とりわけ湿地の再生や生態系の維持に十分配慮した計画にさせていただきようお願いします。</p> <p>小山市大字中島地内の中島橋周辺における水辺の拠点整備の促進と自然環境保全について 鬼怒川は小山市の東部を南北に流れ、古くから農業用水等に利用されるとともに、鬼怒川とその周辺の平地林は市民が水と緑に触れられる空間として親しまれてきました。特に、中島橋周辺では河川愛護と親水を目的に周辺住民で組織した鬼怒川河川敷有効利用促進協議会が中心となり、平成3年より魚のつかみどりなどのイベント「フェスタin鬼怒川」を毎年夏に開催しており本年度で16回目となりました。また、この地区では河川平地林の環境保全のため、地元団体・土地所有者・市の三者において「平地林利用協定」を結び、市民参加の河川環境づくりにも努めております。このようなことにより、この地が鬼怒川の水辺利用の拠点として整備されるよう特段の配慮をお願いするものです。</p>
	真岡市	全体	市民の生命、財産を守るため治水対策はもちろんでありますが、市民の憩いの場、安らぎの場となるような河川環境を確保していただきたい。また、河川改修等整備の際は、魚が生息しやすい魚道の確保等自然環境や生態系に配慮した総合的な水辺環境づくりを実施していただきたい。
		鬼怒川・小貝川	鬼怒川については、河床も広く治水に対する不安は今のところありません。 鬼怒川は、「フレ・キヌ・スコーレ」基本構想に基づき水辺空間を利用した自然教育センター、市民ゴルフ場として、もおか鬼怒公園ゴルフ倶楽部、運動場、水辺観察ゾーンとしてオオバンの池とトンボの池を整備し農業用水ばかりではなく鬼怒川を利用させていただいております。

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
栃木県	真岡市	鬼怒川・小貝川	<p>鬼怒川は、河川環境を有効利用した自然教育センターやトンボの池、オオバンの池、鬼怒公園ゴルフ倶楽部などを整備しているが、一部の箇所、ゴミの不法投棄が多い。小貝川もアダプトプログラムを地域と実施しているがゴミの不法投棄が多い。真岡市でも監視体制を強化しているが、減らないのが現状であります。監視カメラの設置など対策の強化をお願いしたい。</p> <p>小貝川については、暫定及び暫々定堤防箇所がありますので早期に整備を図っていただきたい。</p> <p>小貝川は、一部でフラワーベルト事業によるコスモスや芙蓉の花、桜つつみなど、自然を活かした市民の憩いの場になっていますが、農業用水のみの利用であり、こどもやお年寄りがいずれも親しめる水辺空間や自然と触れ合うことのできる空間はありません。河川整備の際は、水と触れ合いのできる空間の整備をお願いしたい。</p> <p>小貝川において、真岡市と二宮町をつなぐ阿部岡橋は計画断面内に設置されており、増水により通行止めになってしまうのが現状である。道路部分は、堤防も切れており、維持管理上支障となっている。早急な対応が必要であるため、計画断面での橋の架け替えの計画をお願いしたい。</p> <p>小貝川については、一部区間について、アダプトプログラムを実施して当該地区の河川の維持やフラワーベルトなどの美化活動を実施しているが地域住民に自然や文化、歴史などに理解と関心を持っていただけるような河川愛護活動を展開していただきたい。</p> <p>小貝川において、調整池などの施設整備を図る際は、地域住民の利用と水辺環境の共存を図った整備をお願いしたい。</p>
	さくら市	全体	<p>自然とふれあいの場が、少なくなって来ている今日、河川は自然とのふれあい又は体験そして、余暇活動の場として重要な場所となっています。しかしながら河川の環境は、河床低下や出水の減少などによる、樹林化や外来植物の繁茂が進み、河原固有の植物が減少してきています。また、鮎釣りのメッカでありましたさくら市付近も、鵜の食害によりシーズンでも人があまり見られない状況にあり、川の中の生態環境も変化しきています。これからは、治水、利水事業にあわせ、環境に配慮した施策が必要と思います。現在、下館河川事務所を含めた「鬼怒川河道再生検討委員会」が組織され、研究が進められているところでありますが、これらの研究・試験結果を踏まえ、昔ながらの河川を取り戻していただければありがたいと思います。</p>
		鬼怒川・小貝川	<p>低水護岸の整備は、下館河川事務所の配慮のもと、水衝部対策事業等により危険箇所の整備が着々と進んでおりますが、まだ、押上または大中地区につきましては、未整備の区間が残っておりますので、今後ともより一層の整備推進をお願いしたいと思います。また、整備方法についても、水生昆虫や魚にやさしい工法でお願いします。</p> <p>さくら市を流れます鬼怒川には、絶滅危惧 類に指定されている「チョウ類」の「シルビアシジミ」や、餌となる「ミヤコグサ」が生息しており、市ではこのチョウを天然記念物に指定し保護活動を行っております。また、絶滅危惧種 B類に指定されている、カワラノギクについても、下館河川事務所も東京大学と連携して、保護活動や研究を行って頂いているところであります。今後とも、研究や保護活動を推進して頂きたいと思っております。</p>

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
栃木県	さくら市	鬼怒川・小貝川	<p>河川環境保全のため、今後とも環境に配慮した維持管理をお願いいたします。</p> <p>さくら市の西側には先ほどお話したとおり、絶滅器具類のカワラノギクやシルビアシジミが生息していきまして、現在ボランティアの「うじいえ自然に親しむ会」の協力を得て除草や監視を行っています。行政だけでなく、民間と一体となったこのような保護活動が、なにより重要であると思います。市といたしましても、これらの活動が充実し、また継続していきますよう、これからも努力していきたいと考えておりますので、下館河川事務所におかれましても今まで同様、ご支援と協力の程、よろしくをお願いいたします。</p>
	下野市	鬼怒川・小貝川	<p>本市に関係する右岸については、堤防嵩上及び浸透対策を構ずる計画であり、他は特にありません。</p> <p>不法投棄対策の充実とパトロール強化をお願いしたい。</p>
	上三川町	全体	<p>今までは、治水・利水を中心とした川づくりを行ってきましたが、平成9年に河川法が改正され治水・利水・環境を調和させる川づくりへと転換され、国土交通省では平成18年10月に「多自然川づくり基本方針」が策定されたことに伴い、今後は、基本方針を踏まえた「多自然型川づくり」を関係機関等の連携を図り推進してもらいたいと思います。</p>
		鬼怒川・小貝川	<p>川を整備するにあたっては、事前調査・計画・設計・施工に際し、可能な限り生物の生息・生育・繁殖環境を保全し、自然の特性やメカニズムを活用するよう配慮してもらいたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・占用工作物については、施設管理者との調整により自然環境に配慮し、自然環境、動植物などに配慮した構造としてもらいたい。 ・今後も、農業用水等に悪影響がないように水質保全に努めてもらいたい。 ・河川区域の不法行為等の監視を強化するとともに、関係機関(都道府県・地元自治体)及び地域住民と協働した取り組みを充実してもらいたい。 <p>災害危険箇所の災害防止対策の徹底強化を図ってもらいたい。 施設・設備の整備及び点検強化</p> <p>川の保全と整備を進める際は、国土交通省・都道府県・地元自治体・地元住民が連携した川づくりを進めてもらいたい。</p> <p>水害の予防と早期発見は、被害の軽減を図るためにきわめて重要です。今後も、危険箇所の早期改修を進めるとともに、防災事業の強力な推進に努め適正な維持管理を行い、水害の未然防止を図ってもらうよう要請します。</p>
	上河内町	鬼怒川・小貝川	<p>上河内町地内の鬼怒川上流部に無堤箇所があります。</p> <p>近くに民家があり、大雨時に氾濫するとたいへん危険であり、大きな災害となる恐れがありますので、築堤工事の早期完成をお願いいたします。</p> <p>上河内町は、主に農業用水として鬼怒川の水を利用させていただいております。上河内町の緑水公園のすぐ近くにある逆木洞門については、農業での利水の歴史・鬼怒川の利水に関する歴史を伝える施設となりますので、保存やPRを積極的に行っていただきたい。</p>

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
栃木県	上河内町	鬼怒川・小貝川	<p>水質は年々向上しているように見受けられます。また、自然が豊かでないと見ることのできない動植物が戻りつつあります。それらが、再び見られなくなるということがないよう環境の保護をお願いいたします。</p> <p>昨年暮れにアンモニア系の物質流失事故がありました。原因の特定はされなかったとのことですが、自然に大量発生するものではないと思います。それが続くと、環境に悪影響が出てきますので、そのようなことのないよう、お互いに協力しあい、より良い河川環境を維持していきましょう。</p> <p>近年、大雨・台風等が発生すると、護岸が崩壊する箇所が多く見受けられるようになりましたので、崩壊する前に予防策を講じていただきたい。</p> <p>また、河床低下も目に付くようになりました。橋梁管理にも支障をきたす恐れがありますので、河床低下を防ぐ対策も必要に思います。</p> <p>鬼怒川・小貝川クリーン大作戦について、上河内町も例年スポーツ少年団と行っており、子供たちが河川や、環境・ボランティアについて考える良い機会となっております。鬼怒川の支流西鬼怒川においては、周辺自治会が環境維持に努めて下さり、良好な環境が保たれていると感じております。今後も地域住民と協力し、より良い河川環境を作っていきたいと考えております。</p>
	河内町	全体	<p>1.不法投棄されたゴミにより、河川の景観を損ねているため、今以上にゴミの不法投棄防止対策に力をいれていただきたい。</p> <p>2.台風などの際に水の流れが変わり河原がなくなってしまうため、水辺で遊べる河原を整備していただきたい。</p>
		鬼怒川・小貝川	<p>水の利用が多くなる農繁期と夏場に十分な水が確保できるよう対策をお願いしたい。</p> <p>不法投棄されたゴミが多く河原が汚れているため、河原に遊び来る子供が減っているように思われるので、今以上にゴミの不法投棄防止対策に力をいれていただきたい。</p> <p>葦・カヤ等が伸び放題になっている箇所にゴミの不法投棄が多いと思われるので、堤防以外の所も除草等をお願いしたい。</p> <p>河原の減少により、川で遊ぶ人が減り、河川に愛着を持つ人が減っているように 思われる。地域住民と連携して河川の維持管理を行ううえで、河原を整備するなど地域住民が河川に親しめる環境の整備をお願いしたい。</p> <p>河川敷を散歩する老年者が増えているため、既に整備済みの施設(さくらづつみ等)についてもバリアフリーへの改良をお願いしたい。</p>

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
栃木県	二宮町	全体	<p>全体的には、やはり沿川住民が安心できる、治水対策を優先的に進めていただくことが、重要ではないかと考えております。特に、洪水被害が多い箇所における河川整備は、可能な限り早期に、不安を解消する必要があると思います。また、河川敷地は、沿川住民の身近な癒し空間としても、利活用され続けている、大切なオープンスペースでもありますので、それぞれの地域の実情に応じた有効利用も、増進されることを望んでおります。</p>
		鬼怒川・小貝川	<p>鬼怒川については、河岸の側方侵食が洪水時に一部発生する状況にありますが、当町では川幅が比較的広く、大きな不安は感じておりません。しかしながら小貝川にあっては、台風などの洪水時に、危険水位を上回る状況が発生しておりますので、流下能力を向上させる河川改修事業を、早期に進めていただければと考えております。</p> <p>当町では、川幅約 900mの鬼怒川を、町民の憩い空間として、利活用を推進しております。自然とのふれあい・散歩やサッカー・キャンプ等多用途の交流拠点として、これからも国交省や地域とも連携を図り、河川用地の有効利用を、促進していきたいと考えております。</p> <p>私は、個人的に、不法投棄の抑制を推進したいと考えております。利用者のマナーアップと、クリーン作戦の取り組み、各種機会を捉えて、より一層推進したいと思っております。</p> <p>いかに維持管理費を抑制し、良好な河川利用施設を提供するか、相反する関係にありますが、地域の関係者と施設整備の計画段階から、相談をしながら、地域と一体となった維持管理体制を構築したいと思っております。</p> <p>最近の取り組み事例といたしましては、広報でボランティアの奉仕隊を募集し、町職員有志も参加した、野外活動センターの除草作業があります。これからも町関係者の有志と、地域が一体となったボランティア団体の育成に、取り組んでいきたいと考えております。</p>
	益子町	鬼怒川・小貝川	<p>下流側直轄区間の整備率が40%程度であるため、早急な整備を要望します。</p> <p>益子町を流れる小貝川は、北から南へ町を縦断して流れ、昔から人と自然のふれあいの場として活用されています。また、最近では仮称「益子の川をきれいにする会」の設立準備会も発足され、河川美化活動が地域住民との連携のもと、取り組みが進められようとしています。そのため、川とふれあえる拠点や水辺へのアクセスが容易にできるよう整備を要望します。</p>
市貝町	鬼怒川・小貝川	<p>上下流の洪水のバランスから、山林の減少、森林の荒廃等の保全に努めることなど治水能力向上を図ることが急務である。</p> <p>渇水時における、関係機関の早急な連携、適正な水利用調整、水利用者の節水意識の向上と普及が重要である。</p> <p>小貝川圏域河川整備計画の現状と課題を充分検討されたい。</p> <p>河川の流下能力維持のため、阻害となる土砂や草木について必要に応じ、除去、及び除草、伐採等の対策を検討されたい。</p> <p>河川区域内のゴミの減量等の美化に努め、良好な水環境の保全と河川空間の利用を図ることの協働等が急務である。</p>	

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
栃木県	野木町	利根川・江戸川	利根川水系河川整備計画策定に係る意見について、標記の件について、下記のとおり回答致します。 現状 当町には利根川水系思川がありますが、右岸堤防から道路にしみ水が出てきており、冬には路面が凍結してしまい地元住民が転倒するなど事故等も発生し、大変危険な状況にあります。 要望 しみ水が出ないような対策及び堤防の強化をお願いいたします。
	大平町	利根川・江戸川	利根川水系河川整備計画策定に係る意見について 標記のことについて、ご意見を下記のとおり申し上げます。 1. 堤防の安全性を図るため、堤防の強化をお願いします。 2. 渡良瀬遊水地内には広大なヨシ原を持つ湿地が広がり、多種多様な生物の生息・生育場となっていますが、近年は乾燥化しつつあり、かつて見られた動植物が減少してきていますので、湿地環境の保全と再生が必要だと思えます。
	藤岡町	利根川・江戸川	【利根川水系全体について】 当町に所在する渡良瀬遊水地は、ご承知のとおり利根川水系の特に渡良瀬川、思川、巴波川の洪水の調整地としての機能を有するものであるが、近年の地球環境の変化ととらえられる降水量の増加は、渡良瀬遊水地の機能である貯水量の不足が懸念されることであり、貯水量の拡大に係る対策を早急に樹立し、治水対策を実施されることを所在地首長として特に念願するものであります。 また、渡良瀬遊水地に接する内水排除対策についても、ご検討されますことをお願いするものであります。
		渡良瀬川	【渡良瀬川について】 当町の東武鉄道、新開橋、藤岡大橋の下流の渡良瀬川は、明治末期から大正初期に河道が新設されたところであり、当時淡水沼であった赤麻沼(270ha)を迂回するかたちで当町赤間地区の台地沿いを歪曲に河道が掘削(現在の河道)されたところであり、水の流れを滞留させる原因であり、遊水地の貯水量を増加させるものと判断するところであります。これを解決するためには、渡良瀬川の流れを第1囲繞堤に沿った線で河道を新設する必要があるものと考えるところであります。 当時の渡良瀬川の明治末期から大正初期に、河道が新設された新開橋の下流の渡良瀬川は、上流から土砂が堆積して埋まり、河川環境及び河川としての景観がなくなっているため、美化機能を有する河川としての整備を強く要望いたします。 渡良瀬遊水地をはじめ河川への不法投棄が多く見られるため、これを未然に防止する官民一体的ボランティア組織立ち上げの推進を積極的に図られたい。

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
栃木県	塩谷町	鬼怒川・小貝川	<p>鬼怒川上流の無堤箇所は、大雨時に氾濫すると大きな災害となり、人命喪失等重大な被害となりますので、築堤の未整備箇所については早期整備を望むものであります。</p> <p>また、中小洪水で大規模な河岸浸食が発生し、堤防などへの影響が懸念されますので、治水安全度の向上を目的とした水衝部対策として緊急を要する低水護岸の整備をお願いいたします。</p> <p>鬼怒川上流部は、身近に残された貴重な自然環境の広場としてますますその重要性が高まっており、今後とも豊かで美しい自然環境との共生を目指し、親水性に富んだ河川整備をお願いいたします。</p> <p>直轄区間ではありませんが、この地域は本町の西部地区に位置し、鬼怒川と大谷川の合流地点左岸側であり、世界の観光地である日光東照宮へは車で20分、鬼怒川温泉へは10分程度のところでもあります。</p> <p>この河川敷地を利用し、昭和47年ごろ町営川村牧場を開設しましたが現在一部利用していない放牧場があり、地元からは日光連山を眺望するには県内一の場所でもありますので、是非この場所を利用し環境美化(例えばポピーなどの花の植栽をする)及び家族が河川と親しむ場所の整備を要望するものであります。</p> <p>また、この場所は明治41年に大正天皇が皇太子のとき、行啓(鮎狩り)されたところで、その記念碑が建立され地元が維持管理しております。</p> <p>さらに下流1.5kmには国指定の「佐貫観音岩の磨崖仏」があるなど、歴史的にも価値があるところでもあります。</p> <p>よって、景観がすばらしく歴史的に価値があり、町の財産であるこの地に「環境美化」活動及び家族が河川と親しむことができる基盤の整備を進めてくれるようお願いいたします。</p>
	高根沢町	全体	<p>今後は、身近な自然と親しむ空間や癒しを求められると想定されますので、これに応える河川空間の施設整備や既存の施設を改修する場合には「だれでも、自由に、使いやすく」を重視し、身体障害者等にも配慮した施設整備が必要では。</p>
		鬼怒川・小貝川	<p>携帯電話等の活用により、地域住民等から河川管理者や市町村関係者へ浸水、氾濫、不法投棄の状況等の伝達。河川管理者等から関係機関や住民へ危険河川情報等、双方向コミュニケーションの仕組み作りを推進し住民の安全を守る。</p> <p>水質事故による利水取水や河川環境の被害を最小限にするため、有害物質の除去・中和に必要な資機材の整備等。除草等の環境美化の環境保全については、地域住民等や関係機関と協働で継続的にできる仕組みを構築する。</p> <p>予想をはるかに超える出水による被害を最小限に食い止めるため施設の改修や破堤等があった場合などの防災体制の確立。</p> <p>河川における美化活動や自然環境に関する調査、植生管理、洪水発生時における水防活動等において地域住民等の連携、協働が必要である。</p>

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
群馬県	高崎市	利根川・江戸川	<ol style="list-style-type: none"> 1 洪水による浸水被害を防ぐため、無堤地区の築堤を促進していただきたい。 2 現在進めている阿久津地区の築堤工事の早期完成をお願いしたい。 3 堤防浸水崩壊危険箇所の調査及び対策をお願いしたい。 4 烏川・鎗川・神流川全域に渡り、河道部に堆積している土砂の浚渫をお願いしたい。 5 烏川緑地、烏川2号緑地の有効利用のため、低水護岸の整備を促進していただきたい。 6 自然とのふれあいを中心とした、多自然型の河川整備をお願いしたい。 7 既存の低水護岸を環境護岸に再整備し、烏川リバーサイド公園と一体化された親水公園の整備をお願いしたい。 8 神流川の低水護岸未整備箇所を環境護岸に整備し、神流川リバーサイド公園と一体化された親水公園の整備をお願いしたい。 9 河川周辺に広がる優良農地を潰すことなく、地域農業の発展と環境に配慮した計画にしていきたい。 10 地域内を烏川、神流川、温井川の三つの河川が流れ、さらに三つの河川が合流する全町が平坦なまちのため水害は内在する最大の危険事項であることから新町第一樋管周辺は揚水機設置を見据えた河川整備をお願いしたい。 11 地域防災を目的としたセンターの設置をお願いしたい。 12 和田橋上流にある運動場は面積が狭いため、拡張できるような河川整備をお願いしたい。 13 烏川河川は都市整備区域内として、有効な利活用計画の推進が図れるような河川整備計画の策定をお願いしたい。 14 堤防未整備地域の整備方針は、周辺関係権利者との調整が必要である。 15 河川水位を下げることによって内水被害の軽減が期待できることから、河床高や計画高水位の検討の際には内水対策を十分考慮し、浸水安全度の高い整備計画としていただきたい。
	桐生市	渡良瀬川	<p>桐生川関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 桐生市菱町1～3丁目、桐生川左岸の広見橋～宿の島橋までの堤防築堤。(重要水防箇所) ・ 桐生市菱町1丁目～境野町5丁目桐生川の両岸、堤防築堤(両国橋施工中) ・ 桐生川東7丁目～浜松町2丁目桐生川右岸、新川樋管の閉鎖時に内水氾濫防止のための揚水ポンプ設置。 ・ 桐生市境野町7丁目桐生川右岸、境橋上流の堤防築堤(施工中) ・ 桐生市菱町3丁目広見橋上流左岸の黒川合流部の歩道橋設置 ・ 桐生市東3丁目広見橋上流水辺の楽校整備

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
群馬県	桐生市	渡良瀬川	<p>渡良瀬川関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 桐生市相生町1～3丁目、渡良瀬川右岸の赤岩橋上流の堤防築堤(重要水防箇所) ・ 桐生市堤町3丁目渡良瀬川左岸の赤岩橋下流の堤防高の補強(重要水防箇所) ・ 桐生市相生町2丁目渡良瀬川右岸のJR両毛線橋梁上流の堤防高の補強(重要水防箇所) ・ 桐生市広沢町5丁目渡良瀬川右岸昭和橋下流の橋梁設置による自転車道の整備(太田頭首工付近) ・ 桐生市錦町3丁目渡良瀬川左岸の錦桜橋上流の堤防天端、側道の舗装整備 <p>桐生川、渡良瀬川関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 低水護岸における全区間の未整備箇所の整備及び河川緑地の整備 ・ 堤防天端における全区間の未舗装部の舗装整備及び階段の増設 ・ 堤防天端部分を通学路(東中学校など)として利用できるような施設の整備 ・ 堤防天端部分を公共施設への取付道路として利用できるような階段及びスロープ等の整備 ・ 河川両岸に自転車歩行車道の整備
	太田市	全体	<p>【利根川水系全体について】</p> <p>河川の特長(個性)を活かした、河川環境の整備と保全を求める住民の声が年々高まる中、その計画の策定においては、流域に生まれ、育ち、生活している人々の参画が大きな成果をもたらすものとする。</p> <p>容易なことではないと思われるが、住民参加の手法をより多く導き出し、「協働の川づくり」の実現に向けた取り組みに期待します。</p>
		渡良瀬川	<p>【渡良瀬川について】</p> <p>渡良瀬川の特長(個性)と地域の風土、文化などの実情に対応するとともに、河川環境に配慮した治水対策を推進していただきたい。</p> <p>生活用水と農業用水の利用に供するため、表流水を導入している現状から、河川整備計画の策定にあたっては、安定した流量の確保にも力点を置いていただきたい。</p> <p>河川環境の「整備と保全」において、河川法の改正目的から住民の参画が不可欠であるとする。</p> <p>維持管理についても、河川法の改正目的から、行政と住民による共同作業の形態が望ましいとする。</p> <p>地域住民や市民団体、関係自治体が共有の認識に基づいて、良好なパートナーシップを築きあげることが大切であるとする。</p>

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
群馬県	館林市	利根川・江戸川	<p>1. 鶴生田川水環改善事業(河川環境整備) 群馬県館林市を流れる利根川水系鶴生田川(城沼)は、市民の憩いの場・レジャーの場として釣りや散歩など利用され親しまれています。また、沼の南には、樹齢800年のヤマツツジをはじめとした国の名勝指定されたつつじが岡公園があり、年間約50万人の利用者で賑わっていますが、流域の都市化の進展に伴って水質汚染が進行し、県並びに市による水質浄化に取り組んできましたが、毎年夏にはアオコが大量発生し、景観の悪化や臭気が発生し大きな問題となっているとともに、下流部の渡良瀬遊水地や利根川本流への影響が懸念されることから、利根川から浄化用水の導入を行い鶴生田川(城沼)の水質浄化の整備を促進していただきたい。</p> <p>2. 谷田川第2排水機場の改築事業(治水) 河川事業は、沿川地域住民が安全で快適な生活を実現するうえでは、最も重要な生活基盤整備に関する事業であります。利根川の支川鶴生田川につきましては、谷田川の洪水の影響や利根川への排水が、ポンプによる強制排水のみという状況から、古い施設であるため沿川地域住民にとっては大変な不安となっておりますので、老朽化の著しい谷田川第2排水機場の早期の改築を促進していただきたい。</p>
		渡良瀬川	<p>1. 江川橋の架け替え(治水堤防対策) 渡良瀬川の支川多々良川に架かる館林市の江川橋は、昭和14年に架けられた橋梁で、堤防を切り欠いてかけられており、現在の基準を満たしていません。台風等大雨の時には、その都度、土のう積みにて水害を防いでいる状況であり、沿川地域住民にとっては大変な不安となっております。老朽化の著しい江川橋の架け替えと堤防の整備は緊急の課題であり、沿川地域住民も橋梁架け替え位置についても理解を得ているところでもありますので、早期の改善をしていただきたい。</p> <p>2. 堤防の強化(治水) 河川事業は、沿川地域住民はもとより、安全で快適な生活を実現するうえでは、最も重要な生活基盤整備に係る事業であります。渡良瀬川並びに支川河川について、堤防の浸透に対し、堤防の安全性を確保し、堤防の決壊による被害発生を防ぐために、点検未実施区間の早期実施並びに堤防の強化に取り組んでいただきたい。</p>
	藤岡市	利根川・江戸川	<p>1. 「利根川上流ダム群再編」について 河川整備計画策定において検討されている「利根川上流ダム群再編」は、利根川上流域に建設されている複数のダムの特徴を組み合わせ大きなダムとして連携管理し、新たな効果を生み出すものであり、新規にダムを建設するのが難しい状況において、既存ダムの有効活用策としては理解できる。 しかしながら、「利根川上流ダム群再編」で検討されている下久保ダムの利水容量を奥利根流域ダムの洪水調整容量に最大約4,800万³mの非常に莫大な容量を振替える容量振替案は、神流湖の水位が現行より約2.5mも低下することになり、以下のような様々な問題が発生することが予測され、多くの市民が非常に不安を感じている。 については、「利根川上流ダム群再編」で検討されている下久保ダムの容量振替には、反対である。 現行計画の洪水期利水容量8,500万³m、非洪水期容量12,000万³mを確保されたい。</p>

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
群馬県	藤岡市	利根川・江戸川	<p>(1)ダムを活用した地域活性化への懸念 下久保ダムの建設では、1千万都民のため苦渋の決断をし、300世帯以上、1,500人以上が地域からの移転を余儀なくされた。また、水源地対策特別措置法が制定されていなかったため、地域の再建に非常に大きな打撃を与えた。このため地域の人々は、ダム完成後にダムや湖面を活用した様々な地域活性化施策を模索し、近年ようやく水源地域ビジョンの取組や湖畔の整備事業等により、下久保ダムを活用した地域の活性化対策が歩みだしたところである。神流湖の水位が約25mも低下することは、今までの地域住民の努力が無になるとともに鬼石地域を始めとし、ダム上流町村地域の活力が失われることは誰の目にも明らかである。</p> <p>(2)湖水の景観の観点から懸念 ダム本来の機能は、治水と利水であることは言をまちません。しかし、ダムはそれとともに美しい水辺環境を創りだし、人々に潤いと安らぎを与えてくれる施設でもある。神流湖においても、春の新緑、秋の紅葉が、湛水によって生み出される広大な水面に映える景観は周辺の山並みとも調和し、まさに山紫水明の環境を創りだしている。このような良好な景観は、観光・レクリエーションに利用され鬼石地域の振興にも役立っている。湖水景観の3つの要素は、山・水・空で、この3要素が整っているからこそ見る人に安らぎを与えるものである。 検討されている河川整備計画が実施されれば、神流湖の景観は見る影もなくなってしまうことが予想される。</p> <p>(3)湖面利用者への影響 神流湖は、鮎が繁殖する湖の北限であるため、多くの市民が釣りや湖面を利用したボート遊び等、ダムを身近な施設として年間を通して親しみ楽しんでいる。 水位の低下による湖面の減少とそれに伴う水質汚濁により湖面利用が制限され、湖面を利用して運営している漁業協同組合やボート組合にとっては死活問題となる。また、湖水は周辺での火災発生時における防火水として活用されており、約25mの水位低下は、消防活動における湖水の取水が出来なくなる。</p>

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
群馬県	藤岡市	利根川・江戸川	<p>(4)水道水・農業用水への影響 渇水等において神流湖の水位が低下すると、湖面の濁りや異臭が発生することがあると神流湖周辺の市民から聞いている。 約25mの水位低下は、常に湖面の濁りと異臭が発生することが予測され、汚濁水の放流は、下流の神流川から取水している水道水や農業用水に多大なる影響を与える。 特に、鬼石地区の水道水は、下久保ダム下流の神水ダム近傍にある浅井戸水源に依存しており、神流川の水質悪化は直ちに浅井戸の水質に影響を与え、ろ過施設を持たない水道事業のため、飲料水の供給に支障をきたすことになる。 また、神流川の表流水を水源としている藤岡市の浄水施設は、水質の良好な現在の神流川の水質を基準に汚泥処理や浄水機能が設計されており、神流川の水質悪化に浄水施設が対応できないことも考えられる。 このため、神流川の水質悪化にともなう水道施設の改修や浄水処理費の増大は、水道料金の値上げなど市民生活に多大なる影響を与える。 さらに、下久保ダムは、上流地域での降雪が少ないため、非洪水期に満水になることは稀であり、毎年、灌漑期において水道水や農業用水の水不足を心配している状況であり、容量振替による貯水量の減量は、水道・農業用水利用者の水不足への不安を増大させることになる。</p> <p>(5)市民感情への懸念 水位低下による汚濁水の放流は、下久保ダム直下流の天然記念物である三波石の汚染等河川環境の悪化をもたらし、清流として名高い川として市民に親しまれている神流川の荒廃は、市民にとって耐えられるものではない。</p> <p>2. 神流湖(下久保ダム)湖面利用者会議での主な意見 (1)開催日時 平成19年1月31日(水) 午後1時から3時まで (2)開催場所 藤岡市鬼石総合支所2階会議室 (3)説明内容 利根川上流ダム群再編事業について (4)説明者 国土交通省関東地方整備局 利根川水系総合調査事務所 (5)参加者 湖面利用者会議38名 藤岡市議会議員(旧鬼石町選出)11名 藤岡市区長会常任理事(鬼石地区第71・89区長)2名 藤岡市観光協会代表1名、上毛新聞社記者1名</p>

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
群馬県	藤岡市	利根川・江戸川	<p>(6)参加者の主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダム建設当時から首都圏の水源地として、犠牲の上に成り立っていることや過疎の一因になっているが、水位の低下は、益々の過疎に拍車をかけるのではないか。 ・湖面利用としての機能がなくなるのではないか。 ・2.5mの水面の低下は、ダム不要論にまで発展しないか。 ・せっかく、観光面での効果(ダム展の開催等によるダムでの町おこしを始めた矢先)が出てきたところに、なぜ、今この計画を進める必要があるのか？地元住民としては疑問がある。 ・環境面では、水位の低下により、ヘドロの堆積があり、湖面の濁り、周辺への悪臭も心配される。鮎等の魚への影響も考えられる。また、下流域の三波石峡への景観上の問題も発生しないか。 ・緑化対策は計画段階での体裁のいいことばかりで、実施後の管理も含めた説明が無いのではないか。 ・洪水期の治水問題として、首都圏への影響を考慮するのであれば、利根川水系の上流だけの問題ではなく、他の流域も関係するのではないか。 ・治水安全のための容量振替であれば、ダムの嵩上げをお願いしたい。そうすれば、現在、蛇行している道路からトンネル貫通等により直線になるのではないか。 ・水力発電にも影響が出るのではないか。 ・水位の低下は、周辺での火災の発生時の防火水としての機能もあるが、取水が難しくなるのではないか。
	みどり市	渡良瀬川	<p>渡良瀬川の国土交通省直轄管理区域はみどり市大間々町高津戸橋を起点とする下流域になります。</p> <p>渡良瀬川左岸側は、旧ごみ焼却場跡地から桐生市境までの500メートル区間が河川の浸食により人家近くにまで崩落している状況です。</p> <p>右岸側は市道1級22号線が新設供用開始され、桐生市に直結し交通量も増加しています。</p> <p>この区間における市からの要望として第1点は、渡良瀬川左岸側を、根固工により崩落浸食を防止していますが、今なお人家近くまで崩落が続き、危険な状態であり床固工・護岸工の整備を早急にお願いします。</p> <p>第2点目は、右岸側は、高津戸橋、ながめ公園があり、新設道路も出来ましたので、桐生市から続いているサイクリングロード・散歩道等を併設した、市民に憩いのある河川環境施設の整備をお願いします。</p> <p>今後の川づくりに期待することは、自然景観や環境に配慮し、動植物の生態系を壊さない、地域の自然に優しい事業の推進をお願いします。</p> <p>また、砂防事業では、渡良瀬川の沿川3市(栃木県日光市、群馬県桐生市、みどり市)が渡良瀬川流域砂防工事期成同盟会を設立し、国土交通省に要望箇所を挙げ、整備の促進を平成18年度要望としていただいております。</p> <p>現在、大間々町神梅地区では、水辺プラザの計画区域内に深岸浸食防止として、床固工・護岸工の整備を進めていただいておりますが、早期完成に向け、一層のご尽力をよろしく申し上げます。</p> <p>東町関守地区では崩落浸食が著しく、床固工・護岸工の整備が必要であり、また同東町の花輪中河原地区では、地域住民が中心の川づくり協議会において、河川敷の有効利用を提案し、堰堤の補強・床固工の整備をお願いしているところでございますがこれらにつきましても、早期着手をお願い申し上げます。</p>

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
群馬県	みどり市	渡良瀬川	<p>みどり市の上流に日光市があります。旧足尾町では、山体浸食、崩落を防止し、緑を復元する山腹工の整備を行っていますが、周辺には多くの危険渓流があり、いつ土石流が発生するかわかりません。山林も荒れ野生動物の被害も伴い、流木や、山崩れ、土砂災害の発生も心配です。</p> <p>台風や集中豪雨における、雨水の流れは、下流に到達する時間が早くなり規模も大きくなっています。下流域の住民としても災害の危険がありますので、河川状況の提供をいち早くお願いすると共に、今後の河川事業や砂防事業の施設整備の促進をお願いします。</p>
	神流町	利根川・江戸川	<p>下久保ダムは、昭和43年完成以来、自然環境等との調和を図りつつ地域社会と共に大きな役割を担い歩んできました。</p> <p>しかし、今度の利根川水系河川整備計画書中、利根川上流ダム群再編成事業の利水容量振替による水位低下(最大約25m)は、上流域の当町にとって、さまざまな悪影響が多発すると考えられることから、絶対反対である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、国道462号への影響(路肩崩落等) 2、景観・環境・観光面への影響 3、魚類生態系への影響(神流湖産の鮎は、陸封型としては日本最北限であるが、越冬・ふ化・遡上の危惧) 4、群馬県立万場高等学校への影響(水産コース)
	長野原町	利根川・江戸川	<p>長野原町では、ハッ場ダム建設事業に係る様々な事業が進められている。</p> <p>首都圏の治水と安定した水資源の確保のためにハッ場ダムが果たす役割は重要であると理解しており、ハッ場ダム建設の受け入れを苦渋の思いで決断した地元としては、ダムを完成させることは国の重大な責務であると考えている。</p> <p>ダム建設事業に伴う工事が長期かつ広範に行われている中で、移転を余儀なくされている水没関係住民の苦労はもとより、町全体としても人口の減少や観光等の産業の衰退に対する懸念が年々増大しており、水没関係住民の一日も早い生活再建と水源地域の振興が喫緊の課題となっている。</p> <p>このことからしても、生活再建や地域振興のための諸事業に全力で取り組み、ハッ場ダムを一日でも早く完成させていただきたい。</p> <p>また、今回の利根川水系河川整備計画策定が、下流に住む受益者の一人でも多くの人達に我々水源地域の状況について理解していただき、水源地域対策への支援につなげていただける一つの契機になることを願う。</p>
	嬬恋村	利根川・江戸川	<ol style="list-style-type: none"> 1、ハッ場ダムの早期完成と、これらに付帯する国道・県道等道路網整備の早期完成をお願いします。 2、吾妻川河川整備事業での三原床固群・大前床固群・田代床固群の事業促進をお願いします。 3、吾妻川の火山砂防対策として泉沢・下屋沢の事業促進をお願いします。 4、今井川の鉍毒水対策の早期実施をお願いします。

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
群馬県	草津町	利根川・江戸川	<p>1 ハッ場ダムの早期完成について 国土交通省関東地方整備局ハッ場ダム工事事務所により、下流都県の治水・利水を目的に現在工事が進められています。ダム上流である我々西吾妻地域は、ダム建設が進まず過去半世紀にわたり道路整備等が取り残され、群馬県の進めている高速交通への30分乗り入れも未だ実現していない状況であり、ダム関連事業及びダム本体の早期完成を要望するとともに、このダムが観光面で景観に配慮した美しいダムとして整備され、西吾妻地域の活性化に寄与されるようお願いいたします。</p> <p>また、ダム関連事業のJR長野原草津口駅整備におきましても、西吾妻地域の玄関口としての駅前整備を実施していただくとともに、駅のバリアフリー化を実施していただき、スムーズなバス連絡が出来るよう併せてお願いいたします。</p> <p>2 酸性河川の中和事業について 国土交通省関東地方整備局品木ダム水質管理所での一級河川「湯川」の強酸性水の中和事業のさらなる強化と中和のための使用した石灰の再利用等の循環型事業の検討、及び利根川ダム総合管理事務所でプラント実験中の一級河川「遅沢川」の強酸性水の中和事業の早期事業化を要望いたします。</p> <p>3 品木ダムの多目的機能の整備について 水質汚濁防止法施行令で排水基準の対象物質にあげられている「フッ素及びその化合物」等のうち温泉排水については、現在暫定排水基準が設けられていますが、平成19年6月30日に期限を迎え、現状において一律排水基準が完全施行されると、草津温泉の旅館経営は成り立たなくなります。</p> <p>当町の宿泊施設から排水される温泉水は、一級河川「湯川」にすべて排水されていますが、草津町の総湧出量からみると50パーセント未満で、その他は自然湧出温泉として、湯川にそのまま流出しており、水質汚濁防止法で定める環境への悪影響を鑑みたとき、旅館排水の規制だけでは十分な対応ではありません。</p> <p>また、湯川下流で品木ダム水質管理所の中和事業が実施されており、中和剤投入後の最終地点「品木ダム」での有害物質は、国の基準を大きく下回っております。</p> <p>つきましては、品木ダムを湯川の酸性中和だけでなく、フッ素除去もかねた施設として管理いただきたく要望いたします。</p>
	六合村	利根川・江戸川	<p>1ハッ場ダムの早期完成について 下流都県の治水・利水を目的に国土交通省関東地方整備局ハッ場ダム工事事務所において現在進められているハッ場ダム建設事業は、事業の遅れによりダムの上流町村である西吾妻地域は、道路等の整備が取り残されており、群馬県が進めている高速交通への30分乗り入れ構想についても、未だ実現していない状況であり、ダム建設及びダム関連事業の早期完成を要望いたします。</p> <p>本事業の完成により、ダム湖を中心とした美しい景観が本村の農山村景観、温泉郷及び草津温泉を中心とした西吾妻地域の現状の観光資源との相乗効果に期待するとともに、観光振興、地域の活性化に寄与されるようお願いいたします。</p>

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
群馬県	六合村	利根川・江戸川	<p>2品木ダムの機能強化整備について 本村を流れる一級河川「湯川」は、強酸性河川であるためその上流地点の草津町地内において、国土交通省関東地方整備局品木ダム水質管理所により、強酸性水の中和事業が行われていますが、使用石灰の再利用した循環型事業、平成19年度中に期限を迎える温泉排水の暫定排水基準後に向けた酸性中和のみでないフッ素等除去対策事業など、品木ダムの更なる機能の強化を要望いたします。</p> <p>また、中和工場内に整備されている環境体験アミューズメントは、地域住民及び品木ダム水質管理所、草津町及び六合村の協働により整備され、地域の環境、歴史、文化を学び、楽しみ、下流域住民との交流の拠点として利用されていますが、今後も地域特有の観光資源の情報発信、地域住民参画による交流体験等、地域の活性化に寄与されることを期待いたします。</p> <p>3水系砂防事業の促進について 本村を流れる一級河川「白砂川」及びその支流は、山村の美しい景観や穏やかな環境の維持と土石流等の土砂災害から住民の安全な暮らしを守るために、国土交通省関東地方整備局利根川水系砂防事務所において、砂防堰堤、床固群などの砂防施設が整備されていますが、近年の異常気象による集中豪雨は、経験則からは予測がつかない降雨状況も生まれており、土砂流出の抑制、地域の安全、経済活動の保全とともに透過型砂防堰堤やスリット化などの総合的な土砂管理の推進、建設発生土の有効利用など自然環境に配慮した砂防事業の促進をお願いいたします。</p>
	東吾妻町	利根川・江戸川	<p>東吾妻町は、吾妻川中流域に位置し、現在、町内各地においてハツ場ダム建設に伴う周辺環境整備工事が進められている。ハツ場ダム建設計画に関しては、過去に下流域において発生した洪水や水不足等を鑑み、流域全体の治水・利水対策に貢献すべく、ダム事業への理解を深め、事業邁進への積極的な協力を行っている。</p> <p>報道では、莫大な金額が投入される公共事業への批判的な意見等も見られるが、現実にダムサイト直下となる地域住民の心情はこれとは異なっている。地元では起業地となる農用地の買収や家屋の移転を余儀なくされ、長年暮らし続けた地域を離れ、他町村へ転出される方もいる。ダムサイト建設に伴う道路の付け替えや環境整備による周辺環境の変化により、地域の生活基盤は今、大きく変貌しようとしている。このような状況の中、ダム事業に直面する地域住民は、下流域における都市用水、農業用水の安定供給や流水の正常な機能維持等、流域全体の安心安全を考え、ダム事業に積極的に協力することにより、一刻も早く地域の生活再建が果たされることを願っている。このような現状があることを是非、下流域の受益者にもご理解いただき、ダム直下となる地域の振興対策にもしっかりとした対応がなされることを望んでいる。</p> <p>また、当町と長野原町の間に跨る「吾妻渓谷」は、山間渓谷美に富んだ類い希なる美しい景観を持つ名勝指定地である。水辺景観の保護保全や地域の文化、風土の維持に努め、人と河川との豊かなふれあいが楽しめるような環境づくりを目指す中で、下流域の方々にも当地を訪れていただき、交流を活発に行いながら相互の理解を深めていくことも重要なことではないかと考える。</p> <p>今回の「利根川水系河川整備計画」の策定にあたっては、沿川の自治体との連携・調整を図った上で、河川利用に関する多様なニーズを反映し、地域の魅力と活力を十分に引き出すことのできる、積極的な計画が策定されることを望むものである。</p>

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
群馬県	みなかみ町	利根川・江戸川	<p>1 奥利根のダム群は、所在市町村にとって重要な観光資源の1つです。ダムの景観上、湖面が下がり裸地部分が非常に多く見受けられ、環境的にも動植物が生息出来る配慮を願いたい。</p> <p>2 利根沼田地域は、利根川の上流地域で水が澄み清らかな流れとともに自然美豊かな川です。県当局で要所要所親水護岸等計画的に整備されていますが、今後もより多くの国民が、川に親しみ、川とふれあうことの出来る護岸整備を積極的に取り入れていただきたい。</p> <p>3 奥利根のダム群は、首都圏の飲料水を蓄える水瓶であることは周知のとおりですが、災害や緊急時など危機管理体制の整備が必要と思われます。 また、当ダム群へ通ずる幹線道は県道水上片品線一路線しかなく迂回路等幹線道路網の整備も必要と思われるので調査研究をお願いします。</p> <p>4 利根川上流部河川において水生動植物等の生態系が変化しつつあると云われており、特に真夏において、発電所放流口から下流の5～6kmではアオトリが発生し、春に産卵する魚類が秋まで抱卵する状況が見られます。また、ダムの放流や減水により魚類や生物の繁殖に影響があるか、動植物の生態系の調査をお願いします。</p> <p>5 利根川源流域の河川やダムには、利水や治水の機能だけでなく、美しい景観、豊かな自然環境を有しており、国民の保養の場としての機能を有しています。 また、保養の場だけでなく環境保全教育の場としても大変重要な場所であり、首都圏の利水、治水機能の確保とともにこの様な保養の場や教育の場としての機能も併せて確保していただきたい。</p>
	玉村町	利根川・江戸川	<p>近年の気候変動の影響等により、集中豪雨や台風による被害が全国各地で多発していることは記憶に新しいところがございます。</p> <p>利根川・烏川の二大河川を抱える玉村町といたしましては、日頃から危機管理に備えることの大切さを改めて感じております。また、河川及び河川敷等については、憩いと潤いを与える水辺空間・緑地空間として親しまれており、多くの方々が河川沿川に住居を構え、人口は増加傾向にあります。河川整備は未だ十分とは言えず、出水の度に沿川住民の不安は非常に大きなものがあります。</p> <p>このような状況の中、所管する国土交通省により、崩壊等、深刻度の高い箇所から順次、崖地対策事業を実施していただけていることとあり、感謝申し上げます。</p> <p>今後も、早期完成と管内の無堤箇所を中心とした河川整備の推進を継続して実施していただきたくよろしくお願いいたします。</p>

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
埼玉県	熊谷市	利根川・江戸川	<p>福川水門への排水ポンプ設置について要望します。</p> <p>この福川改修事業は、埼玉県において昭和37年に中小河川改修事業として着手され、以来、河道改修を進めていただいております。懸案であった深谷市内の福川伏越工事(毎秒12トンから毎秒80トン)が平成13年度に完成し、この地域が洪水から開放されることになったところでございます。</p> <p>しかしながら、この間、旧妻沼町地内では県営かんがい排水事業等により俵瀬、奈良川、道閑堀、旧福川の各排水機場が整備され、熊谷市では平成15年度に準用河川新奈良川改修事業が完成し、併せて毎秒50.7トンの内水が福川に排水されるようになりました。また、都市化も進み、深谷工業団地等の排水、旧妻沼町・旧岡部町の公共下水道の排水も福川に依存し、本川の流量が増大しているため、下流域の住民にとっては福川水門が閉鎖された場合の不安が以前にも増して高まっております。</p> <p>つきましては、福川水門への排水ポンプ設置について強く要望いたします。</p> <p>浸透対策(検討中)の早期実現を期待します。</p> <p>利根川の河川整備計画における熊谷地区では、次の区域となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左岸(妻沼小島地区 約3.5km) ・右岸(間々田地区から俵瀬地区 約11km) <p>当計画では、全区域の堤防において浸透対策(検討中)となっており、特に右岸では、浸透対策の具体的な方策である「首都圏氾濫区域堤防強化」が明示され、すでに事業は推進されています。</p> <p>つきましては、「首都圏氾濫区域堤防強化事業」の早期完成と左岸の妻沼小島地区における浸透対策の早期事業化により、利根川における洪水に対し、市民が安全で安心したくらしができることが一日でも早く実現できることを大きく期待します。</p>
	加須市	利根川・江戸川	<p>首都圏氾濫区域堤防強化対策事業の工事早期着工と完成の要望。</p> <p>国(国土交通省)の事業で首都圏氾濫区域堤防強化対策事業が行われていますが、加須市も事業区域に入っています。本市においても平成13年に堤防漏水が起きたことは記憶に新しいところです。本市を水害から守るためにも一刻も早い工事の完成を望むとともに、現在、進めている河川整備計画の策定をすみやかにい、河川整備計画に基いた施策の早期実現を要望します。</p>

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
埼玉県	羽生市	利根川・江戸川	首都圏氾濫区域堤防強化対策事業について。 過去に大利根町で利根川が決壊したことがある。現在においてもいつ決壊するかわからない状況であり、住民の生命・財産をおびやかしている。このようなことがないように、1日も早く同事業が完成するよう計画してもらいたい。
		中川・綾瀬川	一級河川中川上流工区整備について。 羽生市は、中川の最上流であるが、整備が未だされていない状況である。やっと県事業として調節池の整備に着手されたがこの調節池の整備及び上流の河道改修の早期完成するよう計画してもらいたい。
	草加市	中川・綾瀬川	<p>首都圏外郭放水路を綾瀬川まで区間延長していただきたい。</p> <p>草加市の中央を流れる綾瀬川は市民の憩いの空間であり、また、大雨時には、市民の生命及び財産を守る、大変重要な河川です。</p> <p>しかしながら、近年の中・上流域での急速な都市化による保水力の低下及び地球温暖化による記録的な集中豪雨等により、綾瀬川の下流域に位置する草加市においては、ひとたび洪水が発生すれば甚大な被害が予想されるところです。</p> <p>そのことから、綾瀬川下流域の浸水被害を解消し、より安全で良好な生活環境を創造するために、大雨時において綾瀬川の洪水を流れにゆとりのある江戸川へと放流するために、昨年6月に通水が開始された首都圏外郭放水路を綾瀬川まで、さらなる区間の延伸を要望するものです。</p> <p>更なる河川環境の整備を要望するものです。</p> <p>草加市では、草加市のシンボルである草加松原沿いの綾瀬川左岸地域を含む地域につきまして、平成16年度に国の地域再生計画の認定(第1号)をいただき「今様・草加宿」事業に取り組んでおり、その一部事業といたしまして綾瀬川に親水施設の設置を計画しております。</p> <p>つきましては、「綾瀬川ルネッサンス」等による浄化対策により、近年、綾瀬川の水質は改善されてはきましたが、更なる河川環境の整備を要望するものです。</p>

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
埼玉県	神川町	利根川・江戸川	<p>1. ダム下流域の河川整備について。 利根川の上流にある下久保ダム建設により、ダム下流域においては上流からの砂利等の流入もなく流されるだけであるため、河床が低下し続け荒廃し景観も悪く川にも入れないような状況です。このため、河川整備計画の中で堰堤等を整備し河川の安定的な環境の維持を進めてほしい。</p> <p>2. 利根川上流ダム群の再編について 利根川水系河川整備計画策定のなかでダム群の再編についても計画されており、神川町に係る下久保ダムについては、現行の洪水調節容量と利水容量を奥利根流域のダム群との容量の振替えを計画しており、この概要は下久保ダムの利水容量を最大4,800万m³奥利根水系のダムに振替えることとしています。これが実際に行われると現在の夏期制限水位よりも最大で2.5mも下がることとなります。これは、下久保ダムが水特法以前のダムとして周辺整備がなおざりにされ、最近になりようやく周辺の環境整備にも目が向けられ、水資源機構を中心として水源地域ビジョンを策定し住民との協働でダムを中心とした地域づくりが進められております。このような状況下において、ダム群の再編が実施されるとダム周辺の環境も激変してしまい、今まで長い年月をかけて行ってきた地域づくり自体も衰退してしまうことが憂慮されます。また、この整備計画に関連して、過日、下久保ダム周辺の自治体及び地域の住民等を対象に利根川水系総合調査事務所による説明会がありましたが、この時も参加者の総意が、ダム群の再編には異論を唱えておりました。このようなことから、この計画における下久保ダムの再編計画には神川町として賛成はできませんが、治水、利水ともに住民生活において重要であることから、万が一計画通り実施されることになった場合には、詳細な環境への調査を実施の上、更に計画に伴う影響緩和のため周辺の関係市町村及び地域住民等と協議の中で、明確なダム周辺環境整備実施計画を策定することを要望します。</p>
	栗橋町	利根川・江戸川	<p>堤防法面の有効活用について。 現在国で進めている利根川沿川の堤防整備事業は、堤防法裏に広大な法面空間が発生するが、既成市街地の場合は貴重な公共空間となるので、市町村等が法面活用を希望する場合については、浸透対策としての事業目的を阻害しない範囲での積極的な活用方策を検討して頂きたい。</p>

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
千葉県	銚子市	利根川・江戸川	<p>1. 最近の大雨による洪水により、沿岸の家屋への浸水、道路の冠水が頻繁に起こるようになり、沿岸住民の不安が募っている。早急に堤防、護岸の改良と無堤防箇所の整備をお願いします。</p> <p>2. 人と川がふれあえる水辺環境の整備をお願いします。</p> <p>3. 災害時の対策として、近隣都県、都市との相互救援のための川の道として活用できるように整備をお願いします。</p> <p>4. 洪水時、ゴミ、草木等が上流から大量に流れてくるため、漁船の出入港ができない等の深刻な影響がでている。ゴミの清掃等、環境保全について、より一層のPRをお願いします。</p>
	市川市	利根川・江戸川	<p>1. 河川整備計画の策定に際しては、沿川市街地や周辺環境を十分配慮していただきたい。</p> <p>2. 計画策定後については、社会情勢の変化に応じて柔軟な対応をお願いしたい。</p> <p>3. 高水敷の管理上または利用者の安全性を図り、高水敷の侵食にも対応した低水敷護岸の改修時には、自然環境に配慮した護岸となるような整備をお願いしたい。</p> <p>4. 都市型水害への対応として、内水排除も配慮した河川整備計画となるようお願いしたい。</p>
	松戸市	利根川・江戸川	<p>1 赤坎樋門の改築について 赤坎樋門(流下能力38 m³/s)は松戸市の中心市街地に位置し、昭和5年(77年前)に建設された本市内水対策の要の施設であります。 本市は昭和18年に人口4万人で市政施行し、現在では47万4千人に発展し赤坎樋門が建設された当時とは、土地利用状況も大きく変貌を遂げました。 また、平成15年・平成16年には台風などにより浸水被害が生じ市民生活に甚大な影響を及ぼしました。 そこで、「水害に強い安全なまち」を目指す本市といたしましては、利根川水系河川整備計画に赤坎樋門改築(流下能力190 m³/s)を位置づけていただき、早期に着工されますよう、要望いたします。</p> <p>2 江戸川左岸堤防強化対策について 松戸市は、江戸川左岸の中流部に位置し、江戸川に9.8km接しております。また、水害から市民の生命と暮らしを守るため「水害に強い安全なまち」を目指し市内河川の治水対策に努めてまいりました。そして、洪水の大部分(90%)が流下する江戸川は本市の治水対策において、かけがえのない存在であります。 近年、地球規模の異常気象による集中豪雨が多発するなど局地的な豪雨は、いつ、どこで起こるかわかりません。 そこで、洪水に強い江戸川にするため現在実施されている右岸堤防強化に併せて左岸堤防の強化をすることが要諦と考えます。 つきましては、利根川水系河川整備計画に「左岸堤防の強化対策」を位置づけていただき、早期に着手されますよう、要望いたします。</p>

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
千葉県	松戸市	利根川・江戸川	<p>3 緊急用河川敷道路の整備について 松戸市小山地先に、松戸緊急用船着場が平成13年5月に完成し、その後、課題であった矢切の渡し周辺の浚渫が行われ、平成17年度には東京湾から松戸までの航路が確保されました。 松戸市は、災害発生時にも市民の安全が確保され、早期に都市機能が復旧できるよう「災害に強いまちづくり」を進めています。 つきましては、この船着場を拠点に防災活動をスムーズに展開するため、利根川水系河川整備計画に江戸川左岸高水敷にも「緊急用河川敷道路の整備」を位置づけていただきたく、要望いたします。</p> <p>4 川のレクリエーション交流拠点につて 松戸市総合計画では、斜面林・河川・農地など松戸を特徴づける自然景観のある江戸川に隣接する矢切地区に、既存の豊かな水とみどりの広がりを生かした「川のレクリエーション交流拠点」の整備を位置づけています。 現在この構想を具現化するため市の内部に「矢切耕地整備構想検討委員会」を設置し土地利用の基本構想や基盤施設の整備方針について検討に着手しました。 つきましては、この矢切地区でスーパー堤防等の具体的な整備計画を立案する際には、本市と緊密な連携のもと進めていただきたく、要望いたします。</p> <p>5 江戸川舟運の推進の支援について 松戸市では総合計画に「江戸川舟運の推進」を位置づけ、平成11年から、国土交通省の支援を受けながら、下流部の自治体と共同で舟運の復活に向けた取り組みを進めて参りました。しかし、観光を主眼とした事業は、民間船舶事業者の参入が不可欠であり、現在中断しております。 舟運事業を進めるにあたっては、江戸川を交通路として活用するため、河川計画と連動した沿川土地利用の設定が必要と考えます。また、現在江戸川は、災害時の緊急用輸送路として位置づけられていますが、舟運の需要が損なわれた今、20年～30年の期間でその需要を誘導・喚起する仕組みづくりが必要不可欠です。 そこで本市では江戸川舟運の復活について再構築し、江戸川・利根川を軸にした広域連携・交流を進めるとともに、環境学習・体験学習についても取り組む所存でありますので利根川水系河川整備計画において、長期的な舟運復活の支援プログラムを位置づけていただきたく、要望いたします。</p> <p>6 江戸川の自然環境の保全・再生について 江戸川は、近年、散策やスポーツなど憩いや潤いを求める市民に広く利用されるようになってまいりました。 しかしながら、江戸川の水面を身近に感じる場所が少ないため、本来あるべき川の魅力が充分発揮されていないのが現状であります。水が溜まり、流れないワンドのような場所や、干潮時に広い砂洲が出来る緩やかな岸辺などがあれば、水遊びやボート遊び、生き物観察(調査)も可能になり川の楽しさ、怖さを大自然・江戸川で体験できるようになります。 そこで、「人と自然が共生するまちづくり」を目指す本市としては、このような水辺が創出されれば環境学習や体験学習に活用して、江戸川と一体となって育んできた郷土の風土・歴史を体感する場として位置づけたいと考えています。 つきましては、利根川水系河川整備計画に、ワンドなどの多様な水辺、水際の創出とそのネットワーク化を位置づけていただきたく、早期に整備されることを要望いたします。</p>

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
千葉県	松戸市	利根川・江戸川	<p>7 坂川放水路・直轄坂川への水辺の楽校等環境整備について 松戸市では、現在、「緑花清流によるまちづくり」を目指しており、清流ルネッサンス の推進により、坂川河川網の水質は大きく改善され、水辺を散策する方も多く見受けられるようになってまいりました。 また、地域と連携し、子供達が川を通じた環境学習ができるような様々な取り組みも実践しております。 しかしながら、直轄坂川沿川では川に触れ合い学習出来る場としての整備がなされていないのが現状であります。 このような中、現在、清流ルネッサンス に於いて直轄坂川に「水辺の楽校」が位置づけられており、整備後は地域に根ざした環境学習の拠点として地域ぐるみで活用させて頂き、川がもっと身近なものになればと大変期待をさせて頂いております。 つきましては、利根川水系河川整備計画に水辺の楽校・大金平大橋付近の拠点整備、さらにこれらを有機的に連続させる遊歩道の確保を位置づけていただき、早期に着手されますよう、要望いたします。</p> <p>8 神明堀への失われた水量の復活による生態系を考慮した水辺空間の保全と水量・水質改善について 準用河川神明堀は、流山市域から流下し松戸市域を通り坂川放水路へ流れています。更に下流の神明堀(旭町地区)は坂川放水路の建設で分断に至った為、已む無く流れが無くなり、現在は新松戸処理場からの処理水のみで維持水量が不足しております。また、近い将来この処理水も流域下水道に接続されることで、水無し川になる運命であります。 そこで、「人と自然が共生するまちづくり」を目指す、本市といたしましては、神明堀下流部への失われた水量の復活が実現されれば、神明堀の保全と六間川、横六間川の水量・水質の改善が進むことになります。さらにこの水を活用し、当該地域の既存水路に水辺を復活させ、生態系を考慮した水辺空間の保全が可能となります。 つきましては、利根川水系河川整備計画に神明堀下流部への導水を位置づけていただき、早期に着手されますよう、要望いたします。</p> <p>9 江戸川 川と水の情報・交流センターについて 江戸川は、東京に隣接する都市部にありながら多くの自然や川の歴史・文化を備えています。近年では多くの方がその魅力を求めて江戸川を訪れるようになりました。しかしながら、現在の江戸川中・下流部では江戸川の歴史や文化・環境などの情報を発信する場がありません。 そこで本市では、総合計画に「広域交流活動推進プラン」を位置づけておりますことから、江戸川の中・下流部沿川において 水の大切さ、川のしくみ・環境・歴史・文化を学び体感できる学習活動の拠点 川と水にかかわる取組みを統合し情報を交流・発信する拠点 川や水にかかわる人・組織が交流し新しい活動を創造する場 江戸川への訪問者のビジターセンター(川の駅など) などの役割を持った「江戸川 川と水の情報・交流センター(仮称)」などの施設について利根川水系整備計画に位置づけ、江戸川が市民にもっと身近なものに感じられるよう推進していただきたく、要望いたします。</p>
	野田市	利根川・江戸川	<p>野田市は、利根川と江戸川の分派に位置し、浸水想定区域図に示されるように決壊時には、関宿地域が完全に浸水するため、利根川の堤防強化及び危機管理体制の確立を図っていただきたい。</p>

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
千葉県	成田市	利根川・江戸川	利根川河川基本方針において利根川下流部の河川流量が増加し、台風等の豪雨で内水排除対策が懸念される。具体的には、千葉県根木名川土地改良区より要望がある、派川根木名川の改修整備と尾羽川排水機場の増馬力について検討をお願いします。
	佐倉市	利根川・江戸川	1 印旛沼周辺における低地部の治水対策として、近年の印旛沼は、沼底に土砂が堆積し水深が浅くなってきている状況から、流入河川の水位上昇が早く、周辺に浸水被害をもたらしているため、沼の水位を低下させる方策として、沼底の掘り下げ等、大雨時でも安心できる態勢づくりを期待する。 2 印旛沼は、農業用水、工業用水、飲料用水として利用されており、水量を確保するための水位管理が行われているため、流入河川の水位上昇に伴い、周辺に浸水被害を与えている状況である。また、大雨時には、印旛排水機場から利根川、大和田排水機場から東京湾へポンプ排水しているのが現状であるが、河川整備計画策定にあたっては、利根川本流から印旛沼を調節池として放流されるため、大和田排水機場等、関連機場の機能確保と適切な運用が望まれる。 3 印旛沼の水質は、湖沼の飲料用水源として、全国ワースト1位という不名誉な記録を保持していることから、水質改善対策として、平常時でも湖水が流動するような方策を検討願いたい。 4 印旛沼を治めた国営印旛沼開発事業から30年以上が経過した現在、施設の老朽化や都市排水・異常気象による降雨量の増大などから、適正な排水計画を構築するために、国営印旛沼 期事業計画との十分な調整をお願いしたい。
	柏市	利根川・江戸川	国土創発調査「自然や歴史と調和した美しい地域空間実現方策」にて、地域資源の一体的な保全と管理・活用と展開方策について検討中である。 野田市が発案し、地域(野田、流山、柏、吉川、守谷)と国・県が連携し、本調査を実施している。 この内容を盛り込んでいただきたい。
	流山市	利根川・江戸川	・流山市の顔として、利根川水系江戸川や利根運河を位置付けているが、この利根川と市民が直接親しむ機会が少ないと思われることから、利根川水系河川整備計画にこの内容を取り組んでもらいたい。 ・公共下水道の整備により利根運河の水量が不足し、河川環境が悪化していることから、環境用水の放流に伴う取り組みをお願いしたい。
	八千代市	利根川・江戸川	1. 利根川下流部に係る計画のうち、高水時における印旛沼及び印旛放水路を新たな放水路として利用することについては、印旛沼の水深が浅く汚濁が進行しやすい特性や、印旛沼が飲料水をはじめ、重要な水源となっていることから、印旛沼及び印旛放水路の水質改善に充分配慮した整備を要望します。 2. 利根川水系河川整備基本方針の計画高水流量図によると、印旛放水路への放流量が整備後は1,000m ³ /sで、現在の印旛沼、印旛放水路(新川・花見川)及び大和田排水機場の能力や周辺地域への影響も充分配慮した整備計画を要望いたします。 また、大和田排水機場下流側付近においては印旛放水路の計画水位が、現宅地地盤高より高くなっておりますことから、河川整備計画時にはその対策について充分配慮して頂きますようお願いいたします。

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
千葉県	我孫子市	利根川・江戸川	<p>・ 大利根橋から新大利根橋までの堤防の天端を利用したサイクリングロードを整備し、本市で整備した我孫子市利根川サイクリングロードとの接続をお願いします。</p> <p>・ 利根川水系である手賀沼は、汚濁ファーストワンを27年間続け、平成13年度に手賀沼の汚濁ファーストワンを脱却し、平成17年度のCODの年平均値は、8.2mg/Lと改善傾向になっていますが、まだまだ環境基準の5mg/Lには程遠い状態です。 平成12年度に北千葉導水事業が運用を開始し、利根川の水を手賀沼に注水する浄化対策の効果が大きいことはあきらかです。しかし、夏場の渇水時期になりますと北千葉導水の注水が止まり、COD値が急激に上がる状況です。それ以外でも止まることもあり、注水ストップが長くなればアオコが発生し、生物への影響も懸念されます。 千葉県が策定している手賀沼湖沼水質保全計画の中にも北千葉導水事業の浄化対策が掲載されていることから、北千葉導水の注水を止めることがないようお願いいたします。</p> <p>・ 栄橋を挟んで上流部と下流部で途切れている「千葉県我孫子佐原自転車道」と「我孫子市利根川サイクリングロード」を接続すべく、利根川右岸、布川狭窄部の河川敷に管理用道路の整備をお願いします。</p> <p>【1】田中調節池について</p> <p>(1) 越流堤移設計画を含む田中調節池懇談会での意見について十分考慮し河川整備計画策定をお願いします。</p> <p>(2) 当該地が洪水防御施設であることの認識が薄れていることから、国交省としてその必要性について積極的にPRをお願いします。</p> <p>(3) 越水時の進入規制等を促す措置として、多数ある市街地から調節池内への進入道路入り口の周囲堤部に規制看板や水位量水標等を適宜設置し、平時から出水時の危険性について周知をお願いします。</p> <p>(4) 洪水の調節池内流入が危惧される場合は、関係機関相互の災害情報の共有化や実際の現場対応(池内への立入禁止、退避、道路通行止措置)が不可欠であり、緊急的かつ地域が連携した洪水調節池流入に限定した水防体制(国交省、改良区、我孫子市、柏市、茨城県側水防団体、河川敷占有者)を確立することが必要ではないかと思慮されますので調整をお願いします。</p> <p>(5) 経年の洪水流入実績・時間・貯留量等に基づき、流入等予測解析を行い下記事項など水防活動の目安となる数値を算出し、ご教示願います。 どの地点でどの程度の水位だと越水する恐れがあるか？ 何時間後に越水する恐れがあるか？ 流入面積・貯留深はどの程度が予想されるか？ 調節池内貯留水がどの程度(時間)で引けるか？</p> <p>(6) 越流堤移設による貯留容量(治水容量)増加に伴う貯留時にどのような環境(自然、地区住民の生活、利用者等)変化が生じるのか分析してご教示願います。</p> <p>【2】後田樋管について</p> <p>(1) 常襲的な浸水被害発生地域である我孫子市柴崎字後田地区の被害を解消するため、最も効果を発揮する「樋管改修」を堤防(周囲堤)の改修にあわせて、国の事業として早期に実現していただけるようお願いいたします。</p>

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
千葉県	我孫子市	利根川・江戸川	<p>【3】堤防断面の補強について (1) 本市、利根川上流河川事務所管内で堤防の断面不足が生じている箇所については、補強等改修の早期実施をお願いします。</p> <p>【4】水位観測地点について (1) 田中調節池の流入や取手水位の増加予測には、現在上流部の「栗橋」「芽吹橋」の水位観測値から予測していますが、本川上流部域からの流下量だけでなく、支川である鬼怒川流域からの流下量も関係することから、利根川本川の鬼怒川合流地点に水位観測所を設置すべく検討をお願いします。</p> <p>【5】手賀沼・手賀川流域における内水被害軽減に向けた水位低下について (1) 本市若松・布佐地区は、短時間に降る雷雨でさえ手賀沼の水位上昇により自然流下せず、常襲的な出水被害が発生しています。 特に灌漑期(4月から8月)は、手賀沼水位が高水位に設定されていることから、短時間降雨で一瞬のうちに水位上昇し、自然流下が阻害され内水排除が不可能となってしまいます。 本市においても浸水被害軽減策として内水排除ポンプ施設を整備しておりますが、強制排水能力は時間20mm程度の降雨にしか対応できていません。 このようなことから、浸水が起きている地区住民は手賀沼・手賀川の水位が上昇すると浸水を引き起こすと理解しており、北千葉揚排水機場の排水により手賀沼・手賀川の水位低下できるとのことで、「降雨時の水位低下に向けた早期稼働」の要請書が毎年市に寄せられています。 現在、国交省管理運用の「北千葉揚排水機場」の稼働が出水被害軽減に非常に効果を発揮しており、細心のご努力を窺われた水位低下措置を講じられておりますが、近年の計画降水量以上のゲリラ的な集中豪雨発生状況を踏まえ、被害の最小化を図る「減災」の観点からも豪雨が予想される場合、より一層の被害軽減強化に向けた「早急かつ事前の水位低下措置」としての施設運用をお願いいたします。</p> <p>【6】布川狭窄部(我孫子市布佐地先栄橋付近)について (1) 当該地の河川断面構造が非常に狭窄である根本的な理由をご教示下さい。 (2) 河床掘削など流下能力確保対策実施時は、地元にも周知願います。 (3) 現在、起きている「せき上げ」現象について詳細をご教示下さい。 (4) 「せき上げ」現象発生による危険性が思慮される場合、洪水時の堤防巡視等パトロールの強化をお願いします。</p>

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
千葉県	我孫子市	利根川・江戸川	<p>・ 我孫子市では、利根川の自然環境に配慮した、自然とふれあい楽しむことのできる利根川ゆうゆう公園等の整備を、平成14年1月31日に国土交通省の水辺プラザに登録し、国の河川整備と連携を図りながら進めています。平成18年度のサッカー場の整備で、河川敷部分の施設整備は完了します。</p> <p>また、利根川をはさんだ茨城県取手市とは、スポーツ施設などの相互利用を行っており、小堀の渡しも利用してのサイクリングコースの設定など広域的なネットワークづくりに向けての話し合いも行っています。</p> <p>今後ますます、市民の利根川への関心が高くなることや公園利用などが多くなると考えられます。</p> <p>このようなことから、将来を見据えた水上交通などのネットワークに対しての施設計画(利根川ゆうゆう公園ファミリーエーションゾーン水上ステージ付近の棧橋の設置など)や利根川ゆうゆう公園などの利用増大に対処するための施設計画(利根川ゆうゆう公園への進入路の拡幅など)を計画に組み入れていただけますようお願いいたします。</p> <p>・ 利根川水系河川整備計画策定に際しては、史跡、文化財にも十分な配慮をお願いします。</p>
	印西市	利根川・江戸川	<p>1. 印旛沼の水質浄化や流域環境の改善に向け、国、県、流域市町村、流域住民が連携し、様々な取り組みがされているところであるが、今後においても更なるご尽力をいただきたい。</p> <p>2. 利根川の重要水防箇所における危険解消に向け、更なる対策を進めていただきたい。</p>
	香取市	利根川・江戸川	<p>当市では、地域資源を活用したまちづくりの中で、江戸時代から昭和初期にかけて利根川の舟運で栄えた水郷商都佐原・小見川の水辺空間を活用したまちづくりに取り組んできました。佐原においては、利根川支流の小野川沿いの重要伝統的建造物群保存地区を中心とする景観形成により、ちばデスティネーションキャンペーンと併せ多くの来訪者を集客しております。また、小見川についても黒部川を活用し、水上スポーツの都市として全国的なボートやレガッタの大会を開催し、その会場にふさわしい施設になるようくろべ運動公園の整備に努めてまいりました。今後さらに利根川を活用し水郷都市の集客を高める地域活力の資源として、河川や水辺空間とふれあえる佐原交流拠点、香取市全体の地域力を高める拠点、また防災センターを兼ね備え防災力の強化、スーパー堤防と併せ水害に強い水郷都市となるよう、先進的に取り組めますので、皆様方の御指唆をお願いします。</p> <p>また、黒部川の排水能力の増強や魚道整備など自然環境保全に配慮した河川整備に期待します。より多くのサケが遡上できるような美しい川作りを進めてくださるようお願いいたします。</p>

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
千葉県	酒々井町	利根川・江戸川	<p>酒々井町の中心市街地を流れる中川はその源を酒々井町上郷地先の字山田附近に源を發し、途中酒々井町の市街地部を貫流し、JR成田線、国道51号並びに京成本線を横断して印旛沼の内水河川である中央干拓低地排水路に合流する流域面積3.6km²の普通河川である。</p> <p>酒々井町は、首都圏へのアクセスが良好であることからベッタウン化が進行し、現在県内第3位の人口増加率となっている。</p> <p>上流部の住宅開発は昭和40年代後半に行われ、住宅開発指導要綱等が定められていない時期の造成である。従って調節池等が設置されていないため、これまで有していた貯溜機能が低下し、降雨時には一気に雨水が流出し、京成本線橋梁上流の中川及び上岩橋地先で過去に幾度と水害が発生している。</p> <p>平成16年9月には、時間雨量77mm、連続降雨量186mmの大雨により床上浸水18戸、床下浸水40戸、国道370m、町道730m、田畑42haの浸水被害が発生し、JR成田線は酒々井駅で車両浸水により一時不通となるなど、交通は各所で分断され都市機能が麻痺し、地域に大きな影響を与えた。</p> <p>酒々井町では、中川流域防災事業として、まちづくり交付金事業に採択されるよう国土交通省都市・地域整備局と協議を重ねたところ平成18年11月に事業採択された。</p> <p>しかしながら中川が流入する中央干拓低地排水路は、印旛沼と接続されておらず、印旛沼へポンプを利用した排水となっており、中川の流下能力に悪影響を及ぼしている。</p> <p>以上のことから、酒々井町及び周辺地域の浸水被害を解消出来るよう、利根川水系河川整備計画の中の新放水路事業計画に治水対策を考慮した計画を盛り込むようお願いいたします。</p> <p>また、新たな酒々井町まちづくりの拠点として印旛沼を活用したいので、町としても流域の水循環系の再生に取り組んでおりますところから、国県においても更に水質の改善、水量の回復及び生態系の保全などにも考慮した計画を盛り込むよう併せてお願いいたします。</p>
	印旛村	利根川・江戸川	<p>印旛沼への放水に伴う影響</p> <p>現在、沼及び流入する河川や水路周辺の低地域においては、大雨時の浸水対策に苦慮している状況である。このことから、当河川整備基本方針に示されている、利根川高水時の印旛沼への放水計画にあたっては、周辺への影響を考慮した整備計画の策定を望みます。特に沼の排水能力の改善(大和田排水機場整備・花見川河川整備)を図られた上での計画としていただきたい。</p> <p>印旛沼に係る他事業との整合</p> <p>水資源機構により実施中の印旛沼開発施設緊急改築事業及び農林水産省により計画されている国営かんがい排水事業「印旛沼二期地区」との連携を密にとっていただき、経費の削減・事業に手戻りが生じないよう整合を図っていただきたい。</p>

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
千葉県	栄町	利根川・江戸川	<p>川づくりに期待することは「ハリケーン・カトリナ」等の事前投資による被害軽減効果で実証されているとおり、異常気象等による集中豪雨・台風等の災害対策が後追いにならないように、高規格堤防事業等による治水・利水事業を早期に実施することにより、住民が安全・安心な生活ができる河川環境づくりと併せて、河川より生命の源である飲料水を水源として取水しているため、水の流れが変わることにより水質悪化を招く恐れもあることから、根本的な水質の浄化等の水質改善対策に取り組んでいただきたいと思ひます。</p> <p>また、普段はふれあいの場の公園として、洪水時には水防活動基地として、地域社会に大きな役割を果たす河川防災ステーションが、一般住民・教育関係者の利用頻度が少ない現状であります。原因としては、人々が集まる水辺と親しめる空間が不足しているためであり、施設の機能に多様性をもたせ、周辺に休憩施設を設けるなど魅力ある空間とする必要があり、隣接する堤外地には、自然環境を維持しつつ「水辺の散策路」や「緊急用河川敷道路」「リバーステーション」等の施設整備をして、災害時は、河川を活用した災害物資等の搬入や各リバーステーションとの連携による復旧ネットワークづくりを進めるとともに、普段は、大人も子供たちも、川から堤防などを観察する自然体験学習ができるような人々が「水に近づく」水辺の環境づくりを期待するものです。</p>
	神崎町	利根川・江戸川	<p>あらゆる世代が、川と親しみ、水辺に学べる環境づくりへの取り組み (具体的な整備計画の内容)</p> <p>河川敷に、昔の舟運を想起することのできる船着場や、若い世代も興味のあるプレジャーボート・バスボード等のボートスロープの整備。</p> <p>このことは、災害時道路が寸断された際の物資輸送・被災者の救援に効果があると思ひます。</p> <p>地盤の弱い当松崎地先の防災対策として、堤防強化のためのスーパー堤防事業への取り組みを期待します。</p> <p>副次的要素として、地理的条件を踏まえた、地場産業の振興に役立つものと期待でき一層の利根川への関心が高まるものと判断します。</p>

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
千葉県	東庄町	利根川・江戸川	<p>河川整備にあたっては、治水・利水・親水(水環境)の3つの分野をバランス良く行うことが重要と考えます。利根川水系河川整備計画策定に当たり、次のことについて意見を述べさせていただきたいと思ひます。</p> <p>治水面では、河川災害から地域住民を守ることが最重要課題であり、まち・耕地を守ることと考えます。</p> <p>今回の整備計画の中で下流部では河道掘削による流水断面の確保を予定されているとのことであり治水整備が更に進むことになり積極的に協力してまいりたいと思ひます。</p> <p>また、日頃から地域防災計画・洪水ハザードマップを整備し、地元住民等と連携を密にしながら出水時の対応が十分できるよう努めたいと考えます。</p> <p>利水面では、水が必要なときに必要な水量が確保出来、水の有効利用が出来ることが重要だと考えます。</p> <p>本町を流れる利根川支流の黒部川(1級河川)は銚子市の上水取水口を始め本町を含む2市1町(銚子市、旭市、東庄町)による東総広域水道企業団を組織し約16万人の生活用水を供給、また農業用水としては周辺の耕地への用水はもとより、大利根用水事業2市2町(旭市、匝瑳市、横芝光町、東庄町・約9200ha)や東総用水事業2市1町(銚子市、旭市、東庄町・約1200ha)の農地に農業用水を供給しています。</p> <p>このようなことから塩害を避けるため旧小見川町一之分目揚水機場から取水し、小堀川をへて黒部川に注いでいます。しかし、近年黒部川は用水の確保等から湖水化(ダム化)し下流部では流水がない状態で水質悪化が課題となっており、利水面からも良質な水環境の整備を早急に望むものであります。</p> <p>また、親水面では「利根川コジュリンこうえん」を整備していただき、野鳥観察舎や遊歩道を設置されましたが、まだ十分に利根川の魅力を活かしているとは言えない状況にあり、更なる整備が必要と考えます。本地域でもハゼ・コイ・フナ釣りなど町内外から多くの愛釣家が訪れますが、護岸等に工夫がなく、治水本来の設計となっており観光等に訪れた人々を含め階段状の堤体や護岸が出来れば単に川に下りるのではなく腰をおろしての休憩場所ともなり親しみのある河川となるのではと考えます。「川は危険だ!!」ではなく「どのようにすれば親しめるか」を考え提案していくべきではないでしょうか。</p> <p>今後も川に対する施策を更に進め、住民がより川を身近にふれあうことが出来るようにしたいと思ひますのでより施設の充実をお願いします。</p>

利根川水系河川整備計画 地方公共団体の長からの意見聴取

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
東京都	足立区	中川・綾瀬川	<p>利根川水系中川・綾瀬川圏域の河川のうち足立区に關係する河川は、中川、綾瀬川、伝右川、圀川、毛長川、花畑川の6河川あり、これらの川は、足立区民の日々の生活に密接に關係しています。そのため、足立区は、今回の中川・綾瀬川河川整備計画に対して非常に關心をもっています。</p> <p>今回の国による中川・綾瀬川河川整備計画原案作成にあたり、足立区として川づくりに期待することや、取り組んでいただきたいことは、洪水災害・地震水害等の発生防止のため、護岸整備・河道内の浚渫等の治水対策を早期に行っていたきたいことです。さらに、区民の環境への關心も高まっており、区民に、いきい場を提供する形の河川整備の推進をしていただきたいと考えます。また、過去に比べ改善されているものの、全国的にみるとまだまだ水質のわるい、中川・綾瀬川の水質改善施策の継続と、支川の河川浄化施策に対しての支援をお願いします。</p> <p>以上、地域住民の聲が反映された河川整備計画の策定により、治水対策と共に環境へ配慮した河川整備を行うことで、「人々が集い、水辺にふれあえる川づくり」を進めていただくことを希望します。</p>
	葛飾区	利根川・江戸川 中川・綾瀬川	<p>浸透破堤について</p> <p>・一連の河川堤防に対する安全性の報道により、江戸川・中川の沿川住民から、浸透破堤を不安視する聲が上がっている。江戸川で考えた場合、近年の洪水時における分派率は、概ね20%から30%と聞いており、今回の報道の基礎となっている分派率を変更したものと現状では、違いがあると考えられる。今後分派率を変更するには先行して下流部の河道掘削や堤防補強を実施することが前提であると思われるが、今後の住民への説明の中では、この様な内容についても、わかりやすく説明をいただき、必要以上の不安を与えないようお願いしたい。</p>
		利根川・江戸川	<p>江戸川・浸透破堤対策の早期実現のお願い</p> <p>・平成18年9月25日付けの読売新聞朝刊に、標記の件につき河川堤防の36%が強度不足との記事が掲載されました。また、標記の件について平成18年12月26日付けで、江戸川河川事務所より情報提供がなされ、それにより葛飾区が接する江戸川の区間(右岸4.19km)のうち訳1.7kmで、安全性照査基準を満たしていないことになっております。区としては、水害から区民を守るためのハード面での対策として、上記対策の早期の実現をお願いするものです。</p>
		中川・綾瀬川	<p>中川・綾瀬川・浸透破堤対策の早期実現のお願い</p> <p>・平成18年9月25日付けの読売新聞朝刊に、標記の件につき河川堤防の36%が強度不足との記事が掲載されました。また、標記の件について平成18年12月26日付けで、江戸川河川事務所より情報提供がなされ、それにより葛飾区が接する中川の区間のうち左岸約6kmのうち約2kmにおいて、安全性照査基準を満たしていないことになっております。区としては、水害から区民を守るためのハード面での対策として、上記対策の早期の実現をお願いするものです。</p>

都・県	市区町村	対象のブロック	意見及び質問
東京都	葛飾区	利根川・江戸川 中川・綾瀬川	人と川とのふれあいについて ・河川事業を考える場合、治水対策が最重要であることは理解できるが、住民にとって平常時の利用を今以上に考えることが河川を愛し育てることに繋がると考える。人と川とのふれあいについて、更なる取組を期待したい。
	江戸川区	利根川・江戸川	<p>利根川水系の河川の最下流部に位置する江戸川区は、上流部で発生した洪水等においても被害を受けることとなります。全川にわたる治水事業を最優先に進めていただくよう要望します。なお、個々の詳細の意見等については、下記のとおりです。</p> <p>(1)江戸川高規格堤防の整備推進について 江戸川高規格堤防の整備推進に向け、その全体目標・計画内容などの具体的な記述を要望します。 また、高規格堤防一体型まちづくりの早期事業化に向け、現在、本区が国土交通省と連携しながら沿川住民と話し合いを行っている「篠崎公園地区」及び「北小岩地区」について、河川整備計画への位置付け(仮称「事業化検討地区」)を要望します。</p> <p>(2)浸透に対する安全性不足箇所への堤防強化の早期実施について 河川堤防の詳細点検の結果、浸透対策が必要な堤防については、早急な堤防強化対策の実施を要望するとともに、その対策内容などの具体的な記述を要望します。 また、浸透対策が必要な堤防については、さらなる治水安全度の向上を目指し、高規格堤防の整備推進を位置付けるよう要望します。 一方、着実な水防活動の実施を図るため、河川堤防詳細点検結果の情報提供を早急に行っていただくよう要望します。</p> <p>(3)江戸川流頭部対策について 江戸川流頭部における改修計画について、課題となっている関宿水閘門の改廃、高水路の改修などの具体的な対策内容の記述を要望します。</p> <p>(4)江戸川水閘門、行徳可動堰の早期改築・補修について 老朽化している江戸川水閘門の改築及び行徳可動堰の補修について、具体的内容の記述を要望します。</p> <p>(5)江戸川環境整備について 拠点整備のネットワーク化、および高齢者や身障者の方の利用促進のため、緊急河川敷道路の全面舗装化を要望します。</p> <p>(6)ボランティア活動の推進 河川敷の清掃活動や草刈りなど、近年住民が自主的に行うボランティア活動が増加し、関心が高まっていることから、ボランティア活動の把握および推進についても、今後の課題となります。</p>